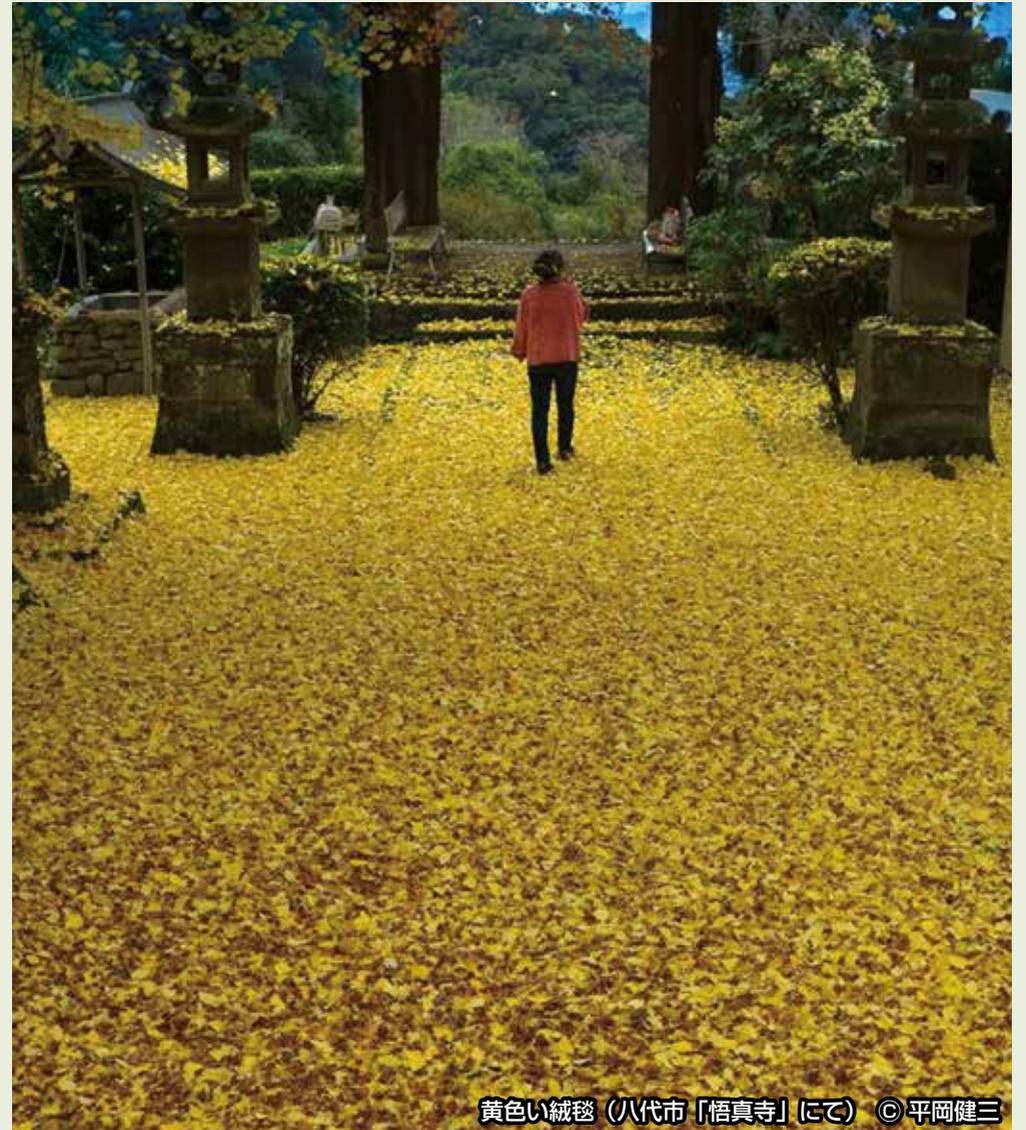


流域の人々と歩む月刊誌

# くまがわ春秋

2017  
**12**  
第21号

## 熊本地震とハワイ移民



黄色い絨毯（八代市「悟真寺」にて） © 平岡健三

月に願いを。

# 緘月

せんげつ

Japanese Traditional Rice Shochu  
**SENGETSU**



緘月城（人吉城跡）にて撮影

緘月酒造株式会社 SENGETSU SHUZO CO.,LTD. 〒868-0052 熊本県人吉市新町一番地 TEL0966-22-3207  
飲酒は20歳を過ぎてから。飲酒運転は法律で禁止されています。  
妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発達に悪影響を与えるおそれがあります。 <http://www.sengetsu.co.jp/>

月刊 くまがわ春秋 第21号 2017年12月15日発行  
企画：人吉球磨総合研究会 発行：人吉中央出版社 TEL 0966-23-3759 / FAX 0966-23-3759  
〒868-0015 熊本県人吉市下城本町1436-4の3号 <http://www.hitooyoshi.co.jp/> [info@hitooyoshi.co.jp](mailto:info@hitooyoshi.co.jp)

定価 540円 本体 500円

雑誌 81779-12-7



4910817791274  
00500

# 最近のおもな出来事

- 11月3日(金) 文化の日
- ▽「さかもと国際児童画展」(19日、八代市坂本町7施設)
- 11月11日(土)
- ▽ひとよし産業祭(12日、人吉市ふるさと歴史の広場)
- 11月12日(日)
- ▽ノスタルジック人吉(JR人吉駅前広場)
- 11月19日(日)
- ▽「SL人吉」今期最終運行お見送り(人吉駅)
- ▽やまえ産業振興まつり(山江村役場前広場)
- 11月23日(木・勤労感謝の日)
- ▽八代妙見祭(22日)、妙見宮及び市内一円)
- ▽第71回大童球溪頭彰音楽祭「音楽のひろば」(人吉市カルチャーパレス)
- 11月24日(金)
- ▽人吉方言例会「水谷川優子チエロリサイタル」(人吉市カルチャーパレス)
- 11月25日(土)
- ▽さながら産業文化祭(26日、相良村総合体育館一帯)
- ▽第12回合唱祭くまがわ(あさぎり町須恵文化ホール)
- 11月29日(水)
- ▽求麻郷土研究会11月例会「第38回康申祭」(あさぎり町免田遍照寺)
- 11月30日(木)
- ▽ひとよしくま市民劇場例会「俳優座「十二人の怒れる男たち」(人吉市カルチャーパレス)
- 12月3日(日)
- ▽第50回人吉市歳末たすけあい演芸会(人吉市カルチャーパレス)

## — 12月(第21号) 目次 —

- くまがわの神さん仏さん⑩ 宮原信晃…12
- 記憶の落ち穂⑩ 坂本福治…15
- かわらない愛情 桑原史佳…18
- 木崎考古学と遺跡③…22
- 柳ろくろがわあじわう漱石俳句⑫ いわさき楊子…26
- 山の写真館「白髪岳のブナ」 遠山幸穂…27
- 球磨川大水害の記録(坂本③) つる詳子…28
- 今月の詩⑩ 文詩集「やまざり」から…35
- 建築みてある記⑩ 森山 学…36
- 漢和字典は面白い④ 鶴上寛治…41
- 球磨川の駅・ものがたり⑫ 松本晋一…42
- 坂本の製紙工場小史② 上村雄一…47
- くまがわすじの考古地誌⑮ 木崎康弘…52
- 川辺川ダム建設反対運動資料 森 明香…56

### 企画 巻頭

- また来春! SL人吉最終運行…3
- 熊本県 クルーズ船拠点へ…4
- 熊本地震とハワイ移民 宮川 続…6
- 緊急ルポ 二日後に事件は起きた 久馬俊…16

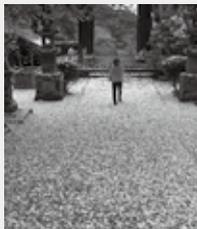
### 今月の一言

『文読む月日』(レフトルストイ編著 北御門二郎訳)より

わざとらしい態度や一風変わった態度、こ  
とさら人目を惹くような態度をいっさい避け  
るがよい。率直さほど人々を接近させるもの  
は何もない。

### 表紙写真

八代市宮地町「悟真寺」にて



市指定有形文化財で征西大將軍懐良親王の菩提寺で  
ある「悟真寺」。秋の終わりになると、もみじと銀杏の葉  
の鮮やかな「ラボレーション」が綺麗な所です。落葉が始ま  
ると参道は黄色い絨毯の様になり  
ます。静寂な境内ですが参拝者  
や家族連れ、そして俳句などを嗜  
む人と出会うことがあります。

撮影/平岡健三(八代市)

- 医食同源⑭ 「ファイトケミカル」 浦川春加…60
- 方言を味わう⑮ 異風昔話 前田一洋…62
- ヒヨドリとサクラランボ 富永和信…65
- 「あがつ段」⑮ 上杉芳野…66
- 外来語から学ぶ英単語⑮ 藤原 宏…68
- ひろしの月刊ぎひょう…68
- 新・日曜釣り師心得③ 宮原赤竿…69
- 永世七冠 平岡優平…71
- 字図で見る球磨の地名⑮ 上村重次…72
- 倉敷便り⑫ 原田正史…75
- いもご短歌会…78
- 文庫本『イシマル書房編集部』白城松男…79
- 鶺鴒短歌会…81
- 鉄道産業遺産「肥薩線」 松本晋一…82
- くまがわ学習塾⑫…84
- 前号「くまがわ学習塾⑪の答え」…86
- くまがわ狂句 村上鬼拳…87
- 人吉・球磨美術(絵画) 連盟展より…88
- おっとわつとあすび⑩ 松舟博満…90
- 今月の秀句⑩ 永田満徳…91



本誌の  
取扱店舗

- 清藤書店 ■ブックスミスミ ■明屋書店 (錦店・免田店・多良木駅店)
- 道の駅さかもと ■TSUTAYA 八代松江店



人吉観光応援団「相良藩・吉組」は線路脇から盛大に見送った(11月19日)

JR肥薩線熊本—人吉間を走る蒸気機関車「SL人吉」は11月19日、今シーズンの運行を終了。人吉駅では大勢の観光関係者らの見送りを受け、来春再会の期待を胸に出発した。同列車は毎年、春から秋にかけて熊本—人吉間を1日1往復しているが、冬場はメンテナンスのため運行を止めている。今シーズンは、3月18日に運行を開始。乗客約3万人。全国でも唯一の石造り機関車庫が100年前の姿に戻り、SL人吉との共演に大勢の鉄道ファンを喜ばせた。



ノスタルジック人吉(11月12日)

11月12日にはJR人吉駅前広場で「ノスタルジック人吉」が開催され、肥薩線開通の100年前を再現。当時の衣装、着物姿で乗客ら観光客をもてなした。また、最終運行に合わせた18日(19日には、人吉駅前通りで「マルシェ」も開かれ、大勢の人たちが賑わった。

### 多彩なイベント

## また来春！ SL人吉最終運行

### 巻頭言

おじいちゃん、死んじゃったって。

桃太郎、舌切り雀、花咲かじいさん、かぐや姫、一寸法師には共通点がある。すべて子供にめぐまれなかった老夫婦の物語だ。その老夫婦が、突然、子供・ペットを授かる。老夫婦は狂気するが、しだいに雲行きが怪しくなる。鬼退治にでかけると言いだしたり、都にでて出世したいと主張しはじめる。年頃になっても、なかなか嫁にいかないし、他人から理不尽なイジメを受けたりもする。

生まれたばかりの赤ちゃんは無条件にかわいい。そのまま欲しがると思ったりもする。しかし赤ちゃんは少しずつ成長する。それは両親の喜びにちがいないだろうが、子供たちが両親の意のままに育つわけではない。いつの間にか遠い存在になっている時もある。子供には固有の人生・独自の生活がある。それは、当然の結果であるけれども、親としては、どことなく、さびしい。

浦島太郎には父親は登場しない。理由は分からないが、母親が女手ひとつで浦島を育てたようにみえる。そうであれば浦島の母は苦勞人であつたろう。浦島の行方が知れなくなつたとき彼女はなげき悲しんだであろう。子供が突然、行方不明になること、それは親にとって、とても悲しい悲しみだ。

子供の成長にともなつて親も歳を重ね、やがて、老人になり人生を終える。子供は、赤ちゃんから少年・少女になつて、成人し、親の世代になり、そして老人になる。このように人間の歴史は人間の循環にほかならないが、日頃、それを意識しない。世の中は師走である。クリスマスを楽しむのいいけど、せつかくの年末、そうした人生の循環を考へても悪くはない。山崎佐保子『おじいちゃん、死んじゃったって』(幻灯舎文庫)を読み、そんなことを考へた。この小説には映画版にはなかつた、おばあちゃんの胸のうかが書かれている。やさしい、おばあちゃんである。

(春秋)

# チャンスにできるか



熊本県は11月22日、八代港をクルーズ船の拠点化に向けた整備計画を策定した。計画ではクルーズ船の寄港目標を20年度に年100回、その後10年以内に年200回とする目標を掲げた。

計画によれば、拠点区域は港南の角地の約16万平方メートル。国は最大22万トン級クルーズ船が着岸可能な専用岸壁を造成、熊本県は120台以上の大型バスに対応可能な駐車場の設置、クルーズ船会社のロイヤル・カリビアン・クルーズ社(RCL、米フロリダ州)はターミナルや集客施設を整備する。同社は整備費用の回収のため40年間・

年間150日、専用護岸の優先利用権を認められた。

## 課題

専用護岸、駐車場、ターミナルの設置の整備とは別に、さまざま課題が残っている。

①乗船客数の確保はRCL社にはほとんど委ねられているため、天候などの事情により出入港に変更に発生した場合の対応。

②クルーズ船が早朝に寄港し夜間に出航する。移動時間を含めて7時間未満を利用して乗客は観光を楽しむことになる。クルーズ船内の娯楽施設も充実していて、すべての乗客が観光を楽しむとはかぎらない。クルーズ船の乗客

を呼び込めるかは地元努力にかかっている。クルーズ船寄港が増えるから自動的に観光客も増えるわけではない。

③乗客の消費場所は特定の免税店に偏っているとの指摘、生活習慣の相違にも関係しゴミの不法投棄等を理由に、乗客の受け入れを拒否する店舗・観光地が散見される。

④乗客は大型バスで移動する仕組みになっているため、交通渋滞がすでに発生しているが、その対応方法。

今回の計画では、そうした問題については今後の課題にしているが、それほど時間は残っていない。

## 八代市立病院 廃止へ

八代市の中村博生市長は12月4日、八代市立病院を廃止すると明らかにした。

市立病院の入院棟は、熊本地震後に閉鎖。市は建て替えに約40億円から50億円かかり、その後も約4億円から5億円の赤字が続くと試算し、入院棟の廃止を模索していた。外来は現地譲渡とし、結核病棟(30床)の取り扱いは今後、国・県と協議するという。

これが実施されると、八代市は地域医療計画の中核組織を失うことになる。中村市長は、入院棟を再開すると大きな赤字が発生するというが、その根拠は不透明で今後、議論を呼ぶであろう。

## コラム「専用護岸」

現在、八代港(外港地区)では、貨物船とクルーズ船が共同利用しており、クルーズ船の寄港日時が限られている。これを解消するため専用護岸を造成する。蒲島県知事は、旅客と貨物の両面で八代港の利用拡大が見込まれるとし、「南九州発展の起爆剤になる」と説明している。



## コラム「観光連携事業」

熊本県は、観光列車とのタイアップ、イルカウォッチングなどともに、八代を含む県南15市町村の連携事業を提案しているが、具体的作成はこれからである。

# 熊本地震とハワイ移民

## 茂寿さんと亀鶴さんの物語

宮川 統

### 1. 熊本地震

昨年（2016年）4月14日および16日に発生した「熊本地震」は南阿蘇・益城・熊本などに大きな被害をもたらしました。

八代地方でも震度5強を観測し、氷川町にある鋤先家も大きな被害を受け、納屋を公費で取り壊すこととなりました。  
私が何にでも興味を持つ変な性格だと知っている福島誠之さん（人吉

市下原田町荒毛）から、「欲しか物のあれば何でん持って来てよかぞ」と、奥さんの実家の鋤先家の片付けに誘われました。ここからこの物語は始まります。

### 2. 一通の手紙

旧家の大きな納屋の中には農具から本や新聞、使わなくなった子供のおもちや、食器などがごちゃごちゃとありました。二階にたくさん書類が入った革のカバンがあり、

その書類の中に一通の外国からの手紙がありました（写真①）。

### 3. 加哇島？

アメリカの切手が貼ってあり、42

年11月30日、肥後小川の消印が見えます。差出人は「加哇島コロア耕地 鋤先」とあります（写真②）。

明治42年にアメリカから手紙が来ている。「加哇島」は何処？この頃外国の島で日本人が行っているところはどこか調べました。アメリカの切手からハワイではないかと推

測し、ハワイの漢字表記を調べると「布哇」。おっ近い。  
さらに調べると「カウアイ島」を「加哇島」と表記することがわかりました。さらにコロアという地名もあることがわかりました。

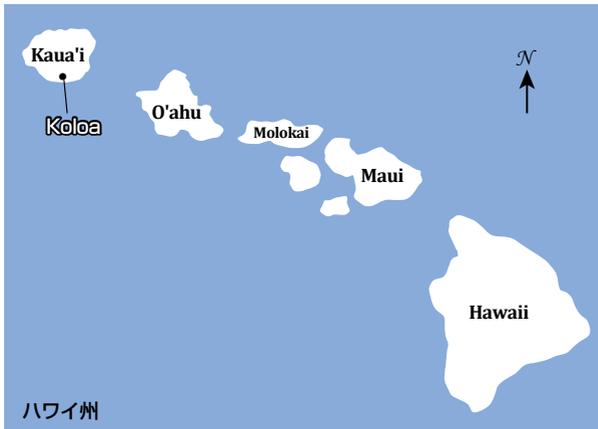
### 4. 布哇への移民

ハワイからの手紙であることがわかり「何ばしに」ハワイに行つたとかが気になり調べてみました。以下のことがわかりました。

- (1) ハワイでは1860年代から砂糖産業が盛んになり、多くの労働者を必要としたことから、移民を各国からたくさん受け入れていたこと。



② 差出人は「加哇島コロア耕地 鋤先」

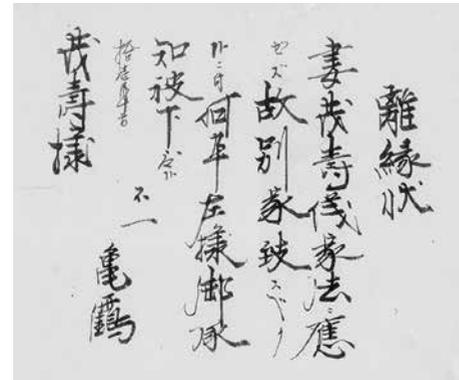


① 鋤先家の納屋から出てきた手紙



鋤先さんからの書簡類

- (2) 明治元年（1868年）153名が明治政府の許可を受けずに渡航したのが始まり。
- (3) 明治18年（1885）からハワイ王国と日本政府との間で条約が交わされ、多くの移民がハワイに渡り、明治33年までに約7万4千人の移民があったこと（官制移民）。そしてその多くが広島県・山口県・福岡県・熊本県の4県からの人たちであったこと。
- (4) 移民の多くが独身者や家族を日本に残した男達で、「故郷に錦を飾る」ことを夢見てハワイに渡ったが、その生活状況は「奴隷」と変わりなくたいへん苦しく、家族を呼び寄せることはおろか自身が帰国することさえままならなかったこと。



③ 封筒の中には「離縁状」も入っていた

- (5) 多くが3年の契約で一旗揚げて日本に帰ることを夢見ていたが、ままならずアメリカ本土に渡るものもあったという。しかし、明治27年にハワイ王国がなくなり、明治40年にはアメリカ政府と日本の政府との紳士協定でアメリカ本土への渡航が出来なくなりました。

- (6) 明治33年の官制移民が無くなった後も自由移民として多くの日本人がハワイへ移民したことです。

## 5. 「離縁状」のこと

さて、この手紙のなかに何が書いてあるのか、4枚の本信と小さな一枚の添え状がありました。添え状はご覧の通り「離縁状」とあります（写真③）。

### 離縁状

妻茂寿義家法二応  
ゼズ故別家致スベク  
候二付何卒左様御承  
知被下度候  
不二

拾壹月十二日

## 6. 亀鶴さんと茂寿さんの悲話

先に書きましたハワイ移民の実情と亀鶴さんの本文から以下の物語が読み取れます。

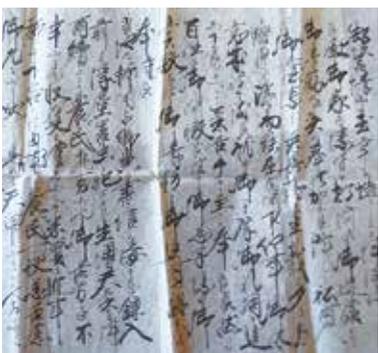
亀鶴さんは、ハワイ移民の募集を聞き、何人かの仲間と一攫千金の夢を実現しようと応募を決意します。若い亀鶴さんですが、手紙の文面（文の中に兩人とあるので身近な人二人で移民したと思われる）や言葉遣いから、まとめ役ではなかったかと推測できます。

親戚を集めそのことを相談し、「三年もすれば家も建て、嫁さんも呼び寄せることもできくつど。」とハワイに呼び寄せる事を条件にいと

と書いてあります。本文は3行半、これが「みくだりはん」です。はじめてみました。大意は「妻茂寿は家風に合わないから離縁する」というものです。チャンと3行半に書いてあります。「離縁状」だけ見ると100年以上前の鋤先家の大スキヤンダルではないかと思いましたが、本文を読んでみると全く違った事実が見えて来ました。

こ（たぶん。亀鶴さん、茂寿さんとも鋤先姓であることから）の茂寿さんと婚約を交わし、ハワイへと出発します。（明治33年までの官制移民から9年も経つことになりましたから、その後の自由移民の時代だと考えます）

ハワイの生活は、長屋で共同生活をし、サトウキビ畑での重労働は想像以上で、しかも賃金は低く、日々



4枚の本信にはハワイでの生活の厳しさが切々と綴ってあった

の生活に精一杯で、3年が過ぎても妻を呼び寄せることが出来ませんでした。手紙の中の「朝に星を戴き夕には月を踏み掛けて消陽」とあることからその苦勞が忍ばれます。

一方、茂寿さんは、ふるさとの吉野村で亀鶴さんからの便りを待っていました。カバンからいっしょに出してきた戸籍謄本から、この手紙が届いた明治42年には茂寿さんは二十歳になっていたことがわかりました。当時二十歳を超えると晩婚と思われていたから、茂寿さんのお父さんもやきもきしていたことでしょう。

この事が原因で、茂寿さんの父親と亀鶴さんの父親との間にいさかいが絶えないようになっていました。当時の農業は共同作業で、親戚な

どが助け合いながら作業をしていましたから大変なことでした。

業を煮やした亀鶴さんの父親は「いつになったら茂寿さんと呼び寄せるのか。」といった手紙を送りました。そして、その中で親戚同士のいさかいのことや、このままでは二十歳になった茂寿さんはハワイにも行けず、といって別の所へ嫁にも行けずでは、あまりにも茂寿さんがかわいそうではないか、早急にと迫るのかはつきりするようにと迫ったのです。そして、「茂寿さんは自分（亀鶴さんの父親）が離縁するつもりでいるが、（世話役の）二人が亀鶴のはつきりした意思表示がなければダメだと云っている。」と伝えました。

手紙を受け取った亀鶴さんは、ハ

ワイでの苦勞と同時に、ハワイに渡った固い決意などを「死すとも帰らんと金の剛保心」であると書いています。また、茂寿さんとの事で親戚の皆さんに心配を掛けている自らを「不実の者」となじっています。

そして、まだ若いと云つても二十歳を超えた茂寿さんを何年も待たせるわけにはいかない。また、媒酌をした二人が云うように、婚約したままでは悪い噂が立ちかねないと、「離縁状」を添え、茂寿さんとつらい別れを決意しました。明治以前は、婚約をした女性がたとえ実家に返されたとしても「離縁状」が無ければ正式に離縁された事にはならず、別の人と結婚できなかったとのことです。からそうした習慣に配慮した「離縁状」だったのです。

## 7. それからのこと

その後の茂寿さんは別の人と大正5年に結婚し、満州に渡られたそうです。戦後に帰国され熊本に住んでおられたと聞きました。亀鶴さんのその後は分かりませんが、茂寿さんと亀鶴さんの悲話から33年後、昭和16年12月8日、日本と米国は太平洋戦争に突入しました。

当時のルースベルト大統領は日系移民を敵対国のスパイとして強制収容所に送ります。米国本土の日本人移民は財産も没収され、たいへんな苦勞をされたようですが、ハワイの日系移民は人口の40%以上を占めるほどになっていたため米国本土

ほどの扱いはなかったようです。とはいえ苦勞された事は事実だと思います。もし、ハワイの「鋤先家」と交流できたらと福島さんと話しています。

この物語を私の住んでいる荒毛老人会で話しました。すると「うちの親戚にもハワイ移民した人のおるばい」と話を聞き、意外と身近にハワイ移民をされた方の関係者がいるものだと驚きました。

八代の正教寺では、真宗が禁制であった「島津領」の都城から逃げてきた真宗信徒がハワイに移住した話も聞きました。そんなに遠くない昔の歴史を掘り起こさせてもらったハワイからの手紙でした。

【みやがわ・つづぎ／人吉市】

くまがわの神さん仏さん 16

# 球磨村お堂巡り その5

宮原信晃

## 横井地蔵堂

いよいよ寒い寒い真つ白な朝霧の頃となった。霧か霜か雪かも分らない季節がもうそこに来ている。

午前中がそんな霧の中だから、お堂巡りもお昼からとなる。

本日の目的地は「横井地蔵堂」。

球磨村役場の下の道を北へ上ると、浦野・坂口・吉松と、キョロキョロしながら各集落を見渡して、横井へ上る途中の高沢集落に着いた。近くにおられた方に「高沢喜純さん

は元気ですか」と聞いてみた。

「喜純さんな夏に亡くなったげな」と返事が返ってきてびびくり。いつも高沢集落に来たら、観音堂の真上の喜純さんのご自宅に立ち寄って「隠れ念仏、長谷焼き（一勝地焼きの元祖）」のお話をお聞きしていたのだ。

「山江村山田と、ここ高沢の隠れ念仏の掛け軸を交互に交換していたばってん、もう後継者がおらん。残念ですが、私の代で終わろうと思いましたが」と喜純さんがポツリとそう言ったのを今でも思い出す。江戸期

お好きな研究をされてくださいね」と喜純さんのご自宅に手を合わせた。

高沢から約一里で横井集落へ着

く。集落の中心部に、一段と高く積み上げた土台に「横井地蔵堂」があった。

「若つかもんは、観音さんじゃろうと言っばってん、ここんとは、地蔵さんばい」と横井集落の横井愛子さんはいう。

ちょうどお茶の時間なので、横井の元キャンディーズの3名がなんやかんや言いながら竹ん子芋や漬け物を食べておられた。

「ここん地蔵さんな、芦北の屋敷野から泥棒が担いでここまで来て、急に重くなつて動かせんことなつて、こけ、うっちゃよいていきないたげな」と横井ミチ子さんが竹ん子芋をくわえながら教えてくれた。「私たちや前に、その泥棒が盗ってきたお堂に行ってきた



横井地蔵堂（球磨郡球磨村横井）

よりこれまで何百年と続いた山田との交流を、ここで終わりにしよう」と決断した喜純さんの、そのご苦労に何ともいえず苦悩を感じたのだ。「どうかお浄土で念仏の世界で

ら、同じものあったとばい」と続けた。

盗られた芦北の屋敷野のお堂に同じお地蔵さんがおられるというのだ。

「盗んで来た地蔵さんが、ここにあるのなら、なんで、盗まれた場所に、同じ地蔵さんがあるのかな？」とミチ子さんに聞いてみたが、何でかわからんという。それならばと、芦北へ向かうことにした。「気をつけて行きなね」と横井チリさんも声を掛けて頂いた。



お話をうかがった横井集落の方々。  
左から横井愛子さん、チリさん、ミチ子さん



お茶の時には竹ん子芋が

# 記憶の落し穂

その ⑳

絵と文／坂本福治



午後3時半を回った時間帯である。急がないと日没は早いのだ。

横井から高沢を通り喜純さん宅に頭を下げつつ球磨村役場へ下りた。球泉洞の前を通過して芦北へ渡る橋へ左折。少し行くと、白木小学校跡がありそこから2キロ上る。

「屋敷野集落」へ来た。車を置いて畑で作業をされていた屋野旨幸さんにお堂の場所をお聞きしてお堂へ向かった。先ほどの横井のお地藏さんと比べると半分ほどの大きさのお地藏さんがおられた。横井のような金色ではない。よくよくみると、頭の塗料が剥げて「もう泥棒に盗られないように」と色を付けているように見えた。

帰りに先ほどの屋野旨幸さんに

話を聞くと「この小さな道をえびらせからワイワイと大勢の人が芦北の白木神社へむかっていたのを覚えてます」とのこと。「えびらせ」とは、球磨村は神瀬の球磨川をはさんで対岸である。

そこから大勢の人が通っていたという。昔々からの道……。もしや……

「隠れ念仏の道」かも知れぬと思った。先ほどの横井集落と、ここ屋敷野をつなぐ道は、「えびらせ」を中継地点にしている。そこには、相良藩ではない隠れ念仏の寺「西林寺」の存在がある。

横井の方々は、金色の阿弥陀様が欲しくて、金色のお地藏さんを屋敷野から注文して取り寄せた。

それが、伝説となり、隠れ念仏の秘話として今まで残ったのではない

だろうかと想像している。泥棒も念仏者であろうか、と。

【みやはら・のぶあき／FBお地藏さん調査隊代表・人吉おおくま座の会事務局】

## 注：「隠れ念仏」とは

藩などの権力から禁止された浄土真宗（一向宗）を権力の目から逃れて信仰することをいう。

日本の藩で「一向宗禁制」の発令は旧薩摩藩（鹿児島県）と旧人吉藩（人吉球磨）だけ。藩は「一向一揆」を恐れた。「念仏（南無阿彌陀仏）」を禁止するのではなく、「一向宗（現、浄土真宗）」の者や講（団体）を取り締まった。

旧人吉藩では16世紀の半ばより明治11年まで禁止令が続いた。山田の伝助さんの処刑後も延々と隠れて念仏を守った。日本遺産にふさわしいストーリー性のある歴史を持つが、未だに日本遺産には認定されておらず、今後の追加認定が期待される。

## 伊能忠敬の子孫

東京に暮らした二十代の頃、「話し方教室」に入門した。受講生の女性と話したら、「私の親戚にも絵を描くのがいる」と言う。それが、江戸時代に日本地図を作った伊能忠敬の子孫とのこと。その名は伊能洋、七代目である。にわかに興味をわき、住所を聞いて文通を始め、彼の個展の時に初めて会った。筆のタッチの多い、暖色系の画風だった。

彼は俳句にも力を入れており、後年、「紫陽花の湖」という句集が届いた。序文を彼の俳句の師匠である青柳志解樹が書いていた。私の知人で、だいぶ前に造園師として知りあった。それから何十年かが過ぎ、「山暦」という俳句雑誌を主宰し、全国に支部を持つ大先生になっていた。青柳氏は伊能を評して「何事につけても律儀」と書いている。青柳の「山暦」の表紙を、何ヶ月か私の球磨川の絵でかざってもらったこともある。伊能の句を一つ。

献体の遺骨帰る

母を納め墓石に注ぐ春の水 洋

【さかもと・ふくじ／画家、人吉市】

# 二日後に事件は起きた

久馬 俊

11月15日午前4時50分頃、火災が発生した。僕は、そのとき、旧坂本村（八代市坂本町）にいたのだが、5時30分頃から携帯電話が利用できなくなった。携帯電話

など日頃は使わないのに「陸の孤島」にいる気分になった。停電しているわけではなかった。しかし、テレビも電話も利用できなかった。昼過ぎに携帯電話が利用できるようになった。夕方からタブレットも利用できるようになった。それで火事現場近くに設置されているケーブルが火事で破損し陸の孤島になったことを知った。

火事は無人の家から発生した。全焼であった。漏電が火事の原因ではないかとのウワサが流れた。無人の家屋である。そのウワサは本当のように思えた。警察・消防署は午後4時頃まで現場検証をしていた。

それから2日後の夕方に、火事現場から男性の



遺体が発見されるとマスコミが報道した。無人の家から2日後に遺体が見つかる。そういうことがあるのか。そういうえば、遺体発見の日、警官・消防士が20人近く集まっていたモノモノしい雰囲気だった。しかし、遺体が見つかったとはまったく考えなかった。翌日の新聞をみると、火災家屋の住人・親類等は全員無事だという。近くの住民も無事だった。そうだとすれば遺体は誰か。新聞によると火災当日、その家の固定電話から「燃えている」と男の声で通報があったらしい。その男が遺体であろうと思ったが、根拠があるわけではない。その後、注意して新聞をながめているが火事関係の記事は掲載されていない。



事件後、「屋根裏部屋の生活者」を思い出した。天井裏を覗いてみたら布団が敷いてあった事件である。布団を見たとき、1分近く動悸がとまらなかった。遺体の男も他所からやってきて、火事のあった家屋に一時しのぎの宿を求めたのであろうか。男はなぜ、逃げなかったのか。火事はどうして起きたのだろうか。なにかを料理しようとしていたのであろうか。男は焼死した。焼死する直前まで現場を離れられなかったのであろうか。色々な推測が頭のなかを駆けめぐる。固定電話で通報した男と焼死した男が同一人物であるとかぎらない。別の男である可能性もあるのだ。

翌日、現場に向かった。火災現場の家だけが完全に燃えていた。延焼しなくてよかったと安心するとともに、その家だけがなぜ全焼したのか不思議であった。焼死した男がどこで発見されたのかは考えなかった。無意識のうちには手を合わせていた。その日も捜査は実施されていた。翌日から捜査員の姿をみかけない。その家は、いまでも、焼けた姿で建っている。

【ぎゅうま・すぐる／八代市】

# かわらない愛情

球磨川ツクシイバラの会会長 桑原史佳



ツクシイバラはピンクや白のハートの形の花びらで、さわやかなやわらかい香りがします。公式発見されて100年が経ちました。ツクシイバラを絆として、今年もいろんな出合いがありました。この一年を振り返ってみようと思います。

100周年の節目は、例年よりがんばって盛り上げようと、昨年から実



完成したリーフレット

行委員会を立ち上げました。資金を持たない私達には限られたことしかできませんが、ツクシイバラに関心がある異業種の方々にお声かけをして、会議を重ねる中でいろんな意見やアイデアをいただきました。

球磨川のほとりに咲くツクシイバラを知ってほしいと、リーフレットのレイアウトを作り、国交省に相談をしたらステキなものを作ってくだ

さいました。とても評判がよく、観光関係、バラや野草愛好の団体の方々からの希望で、初版の3000

部はあつという間になくなり、追加を5000部印刷していただきました。

に、株に近づき、枝木を傷つけないように作業をします。

なぜか? 「星の王子さま」の本の中でバラの花について王子さまが言います「なぜって、ぼくが水をやったのは他ならぬあの花だから。ぼくがガラスの鉢をかぶせてやったのはあの花だから。ついたてを立ててやったのはあの花だから。毛虫を退治してやったのはあの花だから」。そしたらキツネが「きみがバラに費やした時間がきみのバラを特別なものにするんだ」と教えてくれます。作業の仕方は違いますが、除草作業はまさにこのフレーズの通りだと思います。除草作業に関われば、ツクシイバラの成長に愛情が芽生え、初夏に咲ききれいな姿を見たくなり、開花したら愛おしさが増していきます。



開花時のおもてなし

今年も、開花前に除草作業を3回行いました。SN S、地元新聞、町内放送での呼びかけで、毎回参加してくださる地域の方々、ひとよし応援隊、国交省・役場職員、地元の建設会社・保育園職員の皆さんには心から感謝しています。深い霧や寒い中での作業は本当に大変です。ツクシイバラの下向きのトゲはとても鋭く、ズボンや2枚着ても肌を刺さり、いつまでも痛いです。それでもツクシイバラに巻き付いている葛を取るため

今年の開花は例年より2週間くらい遅く、予定した100周年の記念式典には5分咲きを願っていたのですが、ほんの数輪しか咲いていませんでした。開花時のおもてなしもこの時から始めましたが、咲いている場所を案内しなければならぬくらいでした。遠方から来られた方が「水俣のバラ園に行かずにこちらに来たのに」と、とても残念がつて帰られたこともありました。自然のことですので、私達にはどうしようもできませんが、腹が立つくらい楽しみにして来られたのだろうかと思いました。

週末にはリバーサイドミュージシャンたちが、ツクシイバラの花の中心で大きな演奏を聞かせてくださいました。毎年、この場所で演奏してください「ピエント」や地元バンド「音

明屋」の演奏と語りからも、節目の喜びと自然界への敬意を感じました。

この自生地はとても広いので、静かに花を観賞したい人達は、ステーションから少し離れたら鳥のさえずり、川のせせらぎを聞きながら花を楽しむことができます。散策のあと、おもてなしのテントでお茶やスタッフ手作りの漬物で休憩していただきますが、皆さん笑顔で語らい帰られます。県外からもたくさんの方がくま川鉄道や貸し切りバスで来られました。

花の中でのお弁当を楽しみに来られるおなじみさんたちの姿も。近くの保育園の子どもたちがスケッチをしたり遊んだり、テントのお客様たちに錦町の歌「緑の贈り物」の歌をプレゼントしたり…。花園での時間は、ゆつくりとやさしく流れ、自然と人

人と人を繋いでいきます。まさしくヒーリングスポットです。

今年は絵手紙コンテストを行い、寄せられた作品のツクシイバラの絵や家族への言葉に心が温かくなりました。

ツクシイバラで繋がったランニング大会、フットパス。フォトコンテストにはすてきな写真が寄せられました。イベントを通して、ツクシイバラに関心を持つ人達が年々増えているのを感じました。

夜のツクシイバラも楽しんでもらおうと、ライトアップもしました。「今年は記念すべき年だから力を入れた」と、機材設置をしてくださった業者さんが笑顔で語られていました。

ライトアップ最後の日、友人と夜の宴をしました。陽が沈み、闇に包

に包まれた美しい風景が楽しめます。

名前がついていないずっと昔から、自然の営みが繰り返される中で咲き続けてきたツクシイバラは、発見されて101年目の開花の準備を始めています。

花言葉は「かわらない愛情」。来年もツクシイバラへのかわらない愛情で、私たちは球磨川河川敷へと出かけます。ルイ・アームストロングが歌う「What a Wonderful World」の世界がまさにここに存在します。

この文章をツクシイバラが咲く前に逝ってしまった親友の栗原庄之進氏、球磨川ツクシイバラの会でおもてなしをしてくださっていた上瀬由美子さんへ捧げます。

【くわはら・ふみか／球磨郡錦町】



まれ始める自生地にふわりとツクシイバラが浮かび上がります。幻想的なツクシイバラの花の上には月と満天の星がまるでプラネタリウムのように広がります。そして、蛍がふわりと舞い…。昼間とは違う空間に、心が洗われ気持ち弾みます。そしていよいよ電気を消す時間となり、スイッチの音とともにに辺りは一瞬にしてすっぽりと闇に包まれました。おやすみなさい、ツクシイバラ、また来年会いましょう。

冬に向かう自生地は、赤く色づいたローズヒップが枯草になった雑草と澄んだ青空に映えます。季節を間違えたツクシイバラもちらほら。この時期も季節

# 木崎考古学と遺跡 ③

## 城ヶ峰遺跡 (球磨錦町木上)

(木崎9頁、117頁以下、171頁以下、463頁)

木崎著『原史世界に魅せられし人々』(人吉中央出版社)を一読し、どうしても訪問したかった遺跡。その理由はいくつかある。①同遺跡の位置、つけをめぐって稲留三郎、闌幽舎主人、坪井正五郎がそれぞれの見解を示しているが、それは考古学の成立史を示す例になっていること。②同遺跡は明治13年(1880年)の太政官布告「人民私有地内古墳発見ノ筋届出方」の規定にしたがって調査されたのであるが、これも、考古学成立史



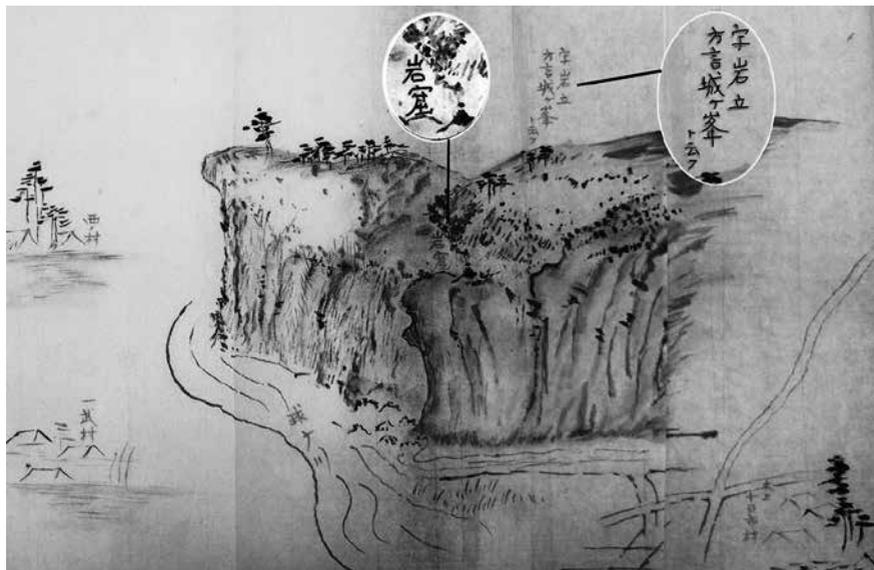
木崎康弘著『肥後と球磨 その原史世界に魅せられし人々』

に直結するとともに、維新政府の古墳調査のスタンスを確認するうえでも重要である。日本の考古学的

### 発見者①

明治21年(1888年)8月22日、木上村(現錦町木上)岩立で石材を探していた石工・新堀甚八が「花瓶壺皿類等」を掘り出した。それが同遺跡発見のはじまりである。西南戦争から11年後である。「新堀」は珍しい苗字ではない。しかし、「新たに掘る」の略字のようで、それだけで親近感が沸く。新堀はそれらを村役場に届ける正直者であった。「正直」というよりは「当たり前」のようにもみえるかもしれないが、少し考えてみれば分かるように、そうではない。畑を耕していたら花瓶がでてきたとき、それを役所に届ける人がどれだけいるだろうか。大半の人は届けないはずだ。新堀はなぜ届けたのであろうか。予想しなかった場所から予想しない物がたので驚いたのだろうか。珍しいものをみつけたら届けるように「上の人たち」からキツク命じられていたのか。

遺産はこうした公的プロジェクトのなかでずいぶん蓄積されたのであった。③同遺跡の出土品は『球磨郡郷土誌』に掲載されている。同誌は球磨地方の考古学の出発点になった著作だが、同書とその元になった稲留三郎『熊風土記』の出品リストが食い違っている。④しかし、それ以上に、同遺跡をめぐって木崎が紹介しているエピソードに門外漢は惹かれる。寺石正路の「球磨漫遊記」は、織田益吉の五家荘の話、寺石の球磨川下りの話など思わ



写真① 錦町城ヶ峰横穴群の位置図 「人骨及刀剣類発掘御届」(同書より)

### 発見者②

新堀から報告を受けた木上役場は元筆生の山口與在と町医者 of 蓑田養純の2人に調査を依頼した。「筆生」とはなにか、当時の町医者はどのような存在か。2人が「地元知識人」であったのは確かだろうが、それ以上のことは、2人が兄弟であったことをのぞけば分からない。2人は現地に赴き、

他にないかと探し周り、穴を塞ぐ板石一枚を発見。丈夫な蓋でピクともせず、叩き割って中を覗き込んだ。すると射し込んだ陽光で、四方「二尺五寸高サ四尺位広サ四畳敷位」の穴の奥まで薄暗く見えた(172頁)

という。4人分の人骨、刀二本、小柄四本、矢の根22本、轡2前がそこにあった。山口・蓑田の2人(兄弟)はそれを見て歓喜したであろう。2人は人骨を埋め戻し、そのほかは「遺失物」として、「球磨警察署」に差し出された。埋蔵物を「遺失物」とみる考え方はすでに当時あったのか。人骨はなぜ埋め戻されたか。

ずのめり込んでしまった。『魅せられし人々』は考古学をめぐる人間模様注目する風土誌でもあって、そこに木崎の魅力がある。

そういうわけで、少々重たいけれども同書をたずさえて、172頁と175頁の図(写真①と②)を参考に、

## 平川（平河）一族

稲留三郎は同遺跡を、平川（平河）一族の遺物と考えた。「相良700年」というけれども、確かにその前に平川一族、矢瀬一族などがいた。ほとんどの豪族が藤原姓を名乗るなか、平川一族は桓武天皇の末裔（良峯姓）を自称した（「良峯」は桓武天皇の子・良岑安世よしみねのやすよに由来し、良峯が平川一族の姓である）。平川は同地の河川名で正式な姓ではない。安世の生母は渡来系の百濟永継くだらのなかつぐ。



矢瀬主馬祐の墓

矢瀬一族を殲滅したのち、相良は平川一族も滅ぼした。平川の最後の棟梁・平川義高は荒田大王神社（錦町木上荒田）、長男・盛高は横瀬大王神社（多良木町黒肥地横瀬）、次男・藤高は山田大王神社（山江村山田）、三男・師高は深田大王神社（あさぎり町深田）、四男・平川大王神社（錦町木上平川）にそれぞれ祀られている。5人（平川一族）の崇りを相良が恐れたためと伝えられている。



山田大王神社。平川義高は次男・藤高を祀っている

岐部明廣『相良三十三観音巡礼』（人吉中央出版社 2016年5月31日）225頁以下参照。同書は平川義高を「平氏一門」とする。

## 織田益吉の五箇荘の話

益吉は寺石に五箇荘を次のように話している。

- ①五箇荘の人は平家の落人の子孫で、刀を帯に下げることが許されていた。
- ②茶、筍、稗、豆などの山の産物を人吉の町で売る時には、いつも刀を腰にして、荷物をモッコに下げて担い、無言で町を歩いた。
- ③売主が商品を売るのでなく、買主が品物を求め、それに売主がどの値段なら売ってもいいという、普通の商売と主客を逆にした売り方をしている。こういう話を聞けば、寺西でなくても五箇荘を訪問したくなる。

## 寺石正路の球磨川下り

寺石は、「其最モ急なる者五ツ」として、「奈ら」・「ひたまた」・「しゆり」・「あバ」・「たかをと」を上げている。木崎は、それぞれについて、那良の瀬・二俣の瀬・修理の瀬・網場の瀬・高曾の瀬であろうとする。前四者はそのとおりであろう、しかし、寺石の基準の順番にしたがうかぎり、「たかをと」は「高曾たかそ」でなく「高音たかおと」と考えるのが自然であろう。



写真②「当郡木上村字山下野間ノ穴打開人骨発見記」挿絵（同書より）

同遺跡の場所を探した。当初は、大まか位置を確認できれば十分だと考えた。これまでの経験から遺跡は簡単には見つけれないと痛感していた。事前に地図で調べていても門外漢にはまず分らない。地元の人もご存知ないときが多い。それでも、訪問回数を重ねていけば、

どうにかなると信じていた。そこで2度、3度、4度、5度と同遺跡の場所を探したのだが、どうしても、みつからない。 図①は「字岩立方言城ヶ峰」、図②は「木上村字山下野間」と書いてある。「山下」と「岩立」は同じ場所か、ちがうのか。「城ヶ峰」は地方名（方言）だが、その名前で遺跡の場所が分かるのか。該当しそうな地域を訪れては、「城ヶ峰はどこですか」と幾度となくおたずねしたが、「京ヶ峰なら知つとるばつてん。城ヶ峰は聞いたことはなか」との返事ばかり。最後まで自力で探そうとも思ったが、しびれをきらして、錦町役場を訪問した。しかし同役場も遺跡の場所を知らなかった。そのため同町教育委員会『錦町の文化財』（平成28年3月）は同遺跡には触れてない。



# 天然ブナ林の南限 白髪岳のブナ

球磨郡あさぎり町皆越

すっかり葉を落とした枝には新たな芽がびっしりと付いており、厳しい冬を迎える準備が整っているように見える（11月19日撮影）



あさぎり町須恵石坂から白髪岳を望む

標高1417mの高さにある白髪岳は、貴重な動植物の宝庫となっており、1980年に環境庁の「自然環境保全地域」にも指定されている。特に天然ブナ林は日本の南限といわれており、中腹から山頂にかけては、スズタケとともにブナ林を形成している。大淀川、川内川の源流でもあり四季折々の景色を楽しむことができる。

【ブナ(樺)】ブナ科の落葉高木。日本では北海道南部、本州、四国、九州に広く分布している。

撮影／遠山幸穂

## 柳人があじわう漱石俳句

— 21 —

いわさき楊子



漱石は熊本の高高に教師としての籍をおいたまま、明治33年（1900年）9月、文部省第一回給費留学生としてイギリスに発った。

秋風の一人をふくや海の上

（漱石33歳）

この句はロンドン出発の前に知人宛のがきに記した。短冊にも書いて東京の留守宅に残した。新しい環境への複雑な気持ちがかきざりと詠まれている。

イギリスへは横浜港・神戸港・長崎港と実際に日本を離れるまで数日を要している。そんな時代だった。

空狭き都に住むや神無月

（漱石33歳）

白金に黄金に極寒からず

（漱石34歳）

ロンドンの街は巨大なビル街に見えたに違いなし。見上げると空が狭く感じた。

着いた翌年の冬、ピクトリア女王の葬儀が行われた。質素な日本の柩にくらべると金銀の装飾にはカールチャーシヨックをうけたことだろう。

栗を焼く伊太利人や道の傍

（漱石34歳）

花売に寒し真珠の耳飾

（漱石35歳）

ロンドンの街の何気ない描写だ。当地でも在留邦人会が開かれていた。十数句の記録が残っている。しかし留学後半になるにつれ、肝心の学問に倦むこととなる。

三階に独り寐に行く寒かな

（漱石35歳）

筒袖や秋の柩にしたがはず

（漱石35歳）

「筒袖」は洋服、「柩」は正岡子規の柩のこと。留学中のため、友の最期に添えなかつた無念が「筒袖や」に込められている。

着船場までは真っ赤な服でいく

船長の孤独を知っている鴨

【いわさき楊子/川柳と俳句の愛好家、熊本市在住】

# 昭和40年 球磨川大水害の記録 (坂本③)

自然観察指導員熊本県連絡会会長 つる 詳子

前回、前々回は、主に旧十條製紙株式会社坂本工場(以後、十條製紙)の工場内外の水害の様子を紹介しましたが、今回は、十條製紙のあった油谷川と球磨川の合流点に位置する坂本地区の7月3日水害時と水が引いた後の写真を紹介します。また、昭和40(1965)年水害の写真を説明するにあたって、ダム建設前の人々の洪水との付き合い方もこれまでの聞き取りを元に紹介しています。今回は、当時の地区の様子が分かるように、個人宅を除くお店や旅館の屋号を敢えて出させていたでいます。

十條製紙の近くにあった坂本地区は、旧坂本村の中心として栄え、昭和40年水害当時は、郵便局や役場等の公共施設や、商店や旅館の多くがここに集まっています。

大雨が降ると、雨の降り方、水位の上がり方や増え方の様相を見て、人々は個人個人で判断し、床上までくると判断すると、畳や家財道具をテーブルなどの上に乗せ必要な準備をしていたそうです。急激に水高があがることはなかったもので、対応する時間は十分にあったよう

した。それ以前も、球磨川の舟運が盛んな時は、人吉と八代を結ぶ川のルートと、肥後峠を越えて下ってくるルートが交わる交通の要所として栄えてきた場所です。球磨川の豊かな水量を利用する製紙会社が明治31年に操業を始めると、物資の集散が盛んになり、人々の往来や人口も増加し、都市型の集落を形成するようになりました。

前々号で、紹介しましたが、ここは坂本村で一番洪水が多いところでした。床下浸水は毎年、数年に一度は天井ぐらまで水がくることもありましたが、それでもここに家が増え、坂本で一番の繁華街になっていったということからも、洪水を気にしていない、というより洪水とうまく付き合い合ってきた人々の知恵があったようです。

です。また、家の方にも工夫があつて、家の建材は水に強い木材を使用したり、殆どの家が2階建てで、大事なものは2階に置いたりしていたようです。1階の天井には、2階の床とつながる畳2畳ほどのスペースが作ってあり、必要な時には、滑車を使って、一階の家財道具を2階まで上げていたと言います。

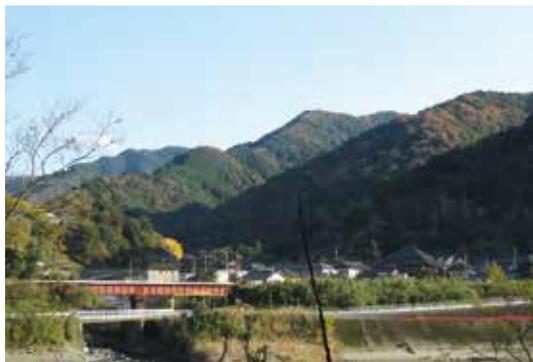
床上まで来ると思った時は、家への抵抗を少なくする



中谷橋からみた今の集落。赤線は昔の道路の高さ



油谷川の上流側から見た現在の集落。現在は嵩上げされている



対岸からみた現在の集落。赤線は昔の道路の高さ

ために、雨戸や障子・襖もみんな外し、机の上の畳の上に載せました。障子などは紐で縛って柱につないでおくと、洪水できれいにはがされ、後で張り替えるのが楽になるし、水が引くときに、壁をぐしぐしこするとどピカピカになるので、暮れの大掃除の代わりと思うことになっていたという話も聞きました。

そして、準備が終わると、どこの家にもあった大きな網を持って、大水で岸辺に寄ってくるアユを掬いに家族

総出で出



かけたとい  
い、この濁  
り掬いが楽  
しみだった  
という方も  
います。  
戻ってく  
ると、大掃  
除の始まり  
です。畳を



写真①-1: 3日の午前10時頃



写真①-2: 水が引いた後。日時不明

干して、障子を張り替え、家具を元に戻します。  
また、引いた後に残るサラサラの砂は、庭に利用した  
り、コンクリートなどの資材にしたと言いますから、洪  
水がアユや砂などの恵みももたらしていたという時代が  
あったことにびっくりです。実際、「洪水」とか「大水」  
とかいう言葉はあつても、「水害」という言葉はなかった  
と言います。

同じような話は、人吉市や球磨村でも多くの方から

聞きましたので、球磨川流域に住む人たちは、洪水と  
本当にうまく付き合つてこられたのだなあと驚いたもの  
です。堤防もなかった昔、洪水時に許容できる浸水予想  
と、生活に必要な水の利用を考えて、人々は家を建てて、  
集落が形成されていったのでしょう。

図①にみるように、球磨川と油谷川、及び十條製紙へ

の引き込み線に囲まれた範囲と、球磨川と肥薩線の間の  
道路沿いに多くの家屋が集中してありました。

写真①は、十條製紙体育館の裏に続く階段から集落  
の様子を撮影したもので、浸水時と水が引いた後の写真  
です。浸水時写真の右手に「キリン」と読める看板のかわつ  
た家屋は、吉田酒屋という酒屋さんで、①-2では、す  
でに撤去されています。左手には、昭和旅館や谷川薬局

がありました。「テレビはナショナル」と  
いう看板も見えますので、電気屋さんも  
あつたのでしょう。

写真②もほぼ同じところで、体育館への  
裏階段を挟んで、吉田酒屋さんとその西  
側にキャンディ屋さんがあり、前には大和  
タクシーがありました。被害が酷かったこ  
とが分かります。この時は、裏手の石垣の  
上まで水が来たと聞きました。



写真②-1: 3日午前10時頃



写真②-2: 水が引いた後。日時不明

写真③は、油谷川の球磨川に合流するところで、油谷川に架かる鉄橋付近から、体育館と油谷川をみた写真です。坂本地区で一番この辺りが低かったようで、体育館の2階部分は殆ど浸水しています。対岸の家々も一番低い川沿いの家は、屋根だけしか見えません。午前9時ぐらいの写真ですが、一番水位が高かったのがこの頃ではないでしょうか。

写真④は、肥薩線から球磨川の方を撮影した写真で、個人の民家（左）と球磨川旅館（右）です。この水害の



写真③-1: 3日午前9時頃



写真③-2: 水が引いた後、日時不明

時は、水位の上昇がとても速くて、身の回りのわずかな



写真④-1: 3日午前9時30分頃



写真④-2: 右: 水が引いた後。日時不明



写真⑤-1 左: 3日午前9時頃



写真⑤-2: 水が引いた後。日時不明

ものを持って命からがら逃げるのがやっとだったという話に、うなずける写真です。みんな竹籠に最低限のものをに入れて、ここまで逃げたのでしょう。足元まで水が迫っています。線路は浸水しなかったと聞いていますので、最高水位の時間帯だと思われるます。

写真⑤は、やはり肥薩線から、体育館の裏手の方向を撮ったものです。左の2階建ては農田病院で、右側は個人の住宅です。線路に避難した制服姿の学生さんの姿が見えますので、水が流れ込んだのは、通学時間帯だったと推測されます。ここも線路ギリギリまで水が迫っています。

写真⑥は、現在の県道中津道八代線とほぼ同じところですが、道路も家屋も今は数m高上げされています。また、洪水に備えて、殆どこの家が2階建てだったというのがよく分かります。



写真⑥-1: 3日午前11時頃



写真⑥-2: 4日午前11時頃

水が引いた後の写真⑥-1を見ると、土砂が道路上に人の背丈ほどにも堆積しているのが分かります。腐った臭いがとても強く、これらの泥は一体どこから来たのだらうと思ったそうです。家の中にも同じように押し寄せたそうです。また、電線や二階建ての家屋の軒先のロープにゴミが沢山ひっかかっているのを見ても、この時の水位の高さが尋常でなかったことがよく分かります。

人吉球磨児童生徒文詩集「やまぎり」から

第35号（2009年3月発行） 選・作文の会

帰り道

人吉二中三年 小川隆将

帰り道  
君と二人で  
どうでもいい話をしながら  
冗談を言つてふざけあいながら  
君には何ともないのかもしれないけど  
僕にとつては  
すごく幸せで  
大切な時間なんだ  
そうやって歩いてるうちに  
君の家の前に着く  
「じゃあね」と、君が笑う  
「また明日な」と、僕も笑つて返す  
でも  
こつやつて笑いあえる日も  
もう、そんなに多くない  
運動会でクタクタになった日も

合唱コンクールで金賞が獲れなくて悔しかった日も  
文化祭が終わつて、感動して泣いてた日も  
君と僕の喜怒哀楽も  
そのすべてを知つてるこの道とも  
もう、お別れだ  
だから  
僕は  
君との時間を  
もつと大切にしたいんだ  
そうだ  
これを言つとかないと  
「明日も、一緒に帰ろうな」

【評】何気ない日常の何気ないシーンに、幸福感を味わい、言葉で素直に表現できる、小川くんの感性に素晴らしさを感じました。中学校の様々な思い出が、そして友だちが、小川くんにとつて忘れられない人生の宝物になりましたね。



写真⑦ この付近では建物の2階の半分ぐらいの高さまで泥水が押し寄せた

す。堆積した泥は、冷えるコンクリートのように固まるので、掻きだすのはとても大変だったようです（写真⑥―②）。大量の土砂が掻きだされ、表に積まれています。二階の屋根も相当なダメージを受けています。

写真⑦は、写真⑥と同じ通り沿いで、後片付けが始まっています。松田時計店と山下鍼灸の看板が見えますが、この付近で、2階の半分ぐらいの高さまで泥水が押し寄せたと言います。

ともかくも未曾有の水害だったと、この時の水害体験者の多くの方から聞きました。しかし、その後も度々被害をもたらす洪水に見舞われ、「水害」という言葉が生まれたようです。私も、昭和57年の水害時は、この辺りを見に行きましたが、その時もこの写真と同じ、もしくはそれ以上の被害で、啞然としたことを憶えています。度重なる水害が、坂本村の人口減少の大きな原因の一つであったことは否定できないであろうと思います。

【ふる・しょうこ／八代市】

# 日本基督教団八代教会をあるく

森山 学



写真① 外観

クリスマス時期でもあるので、今回はキリスト教会堂を訪問したい。バス停「宮の町」に程近い日本基督教団八代教会(写真①)である。小西行長の統治時代にはキリシタン多数の地として知られた八代に、八代カトリック教会が創設されたのは明治十三年(一八九〇)。同じころ、プロテスタント系会派も八代で布教活動をしており、明治十九年(一八八六)に、デーヴィソン宣教師の影響を受け、市来敬太郎が初代牧師となって「八代メソヂスト教会」を創設。そして明治四〇年(一九

〇七)、「日本メソヂスト教会」が誕生した際、八代メソヂスト教会は「日本メソヂスト教会八代教会」になる。

布教当初から市内を計八回にわたり移転してきた八代教会は、大正十二年(一九二三)、最後の移転先となる現在地に移る。当初は家屋を礼拝堂や幼稚園舎(いまの「聖愛幼稚園」)に活用していたが、昭和二年(一九二七)、ついに最初の教会堂を建設する(写真②)。

これは木造二階建てで、切妻屋根の礼拝堂(「講堂」)の棟と、一階に教室、二階に和室がある切妻屋根の園舎の棟が直交するように造られていた。おそらく素朴な思いがそのまま形になったものであり、複雑な見た目であったから、一目には教会

とは分かりにくかったであろう。しかし礼拝堂の棟は半円アーチの窓、園舎の棟は四角い窓、というふう窓のデザインを使いわけ工夫は見られた。

せっかく建てられたこの初代教

会堂は、残念なことに昭和八年(一九三三)に焼失。それでもめげずに、焼失したその年、早くも木造の新教会堂を再建する。これがいまの建物である。しかし昭和三二年(一九五七)に大改修をしている。



写真② 初代教会堂



写真③ 再建教会堂

そこで大改修前の様子(写真③)と比べながら、いまの建物を見てみよう。

外観は切妻屋根の礼拝堂に玄関ポーチがつくだけで、一目で教会だとわかる。玄関ポーチの屋根の上には十字架がかかげられ、東の壁の上には切妻屋根にあわせて頂部を三角形とする大きなステンドグラスがつく。ある意味、初代よりも教会建築として洗練されたと言える。

しかし改修前は、より教会らしかった。いまの玄関ポーチの場所にはかつて塔が立ち、十字架は礼拝堂の棟上にかかげられていたのである。そもそもこの塔は階段塔でも鐘塔でもなく、二階に事務室があった。つまり教会らしさを演出すると

いう重要な役割を担って、塔という外観をしていたわけである。塔が減

築されたのは、この改修が前面道路の拡幅工事に伴うものだったからである。



写真④ 礼拝堂から見たギャラリー

中へ入って見よう。礼拝堂は平屋だが、東側の入口近くだけ二階建てで、一階に事務室（かつての「教室」）、二階には礼拝堂（遊戯室）の吹抜けに面してギャラリーがある（写真④）。プロテスタントでは堂内の一体感を重視するため教会堂の規模を小さくし、その代わりにギャラリーを採用するケースが多い。

礼拝堂の吹抜け上部には木造サイソート小屋組が露出していて、これが大迫力である。



写真⑤ ギャラリーから見た木造サイソート小屋組

る。ギャラリーから見れば、なおのことである（写真⑤）。

さきほどのステンドグラスはギャラリーの窓であるが、かつてはメソ

ヂストの伝統に従い透明ガラスであった。実は、昭和十五年（一九四〇）施行の「宗教団本法」により、日本国内のプロテスタント会派が合同して「日本基督教団」を成立するのだが、八代教会もこれにより「日本基督教団八代教会」に変わったため、近年の改修でステンドグラスに

替えられたのである。かつては清々しい朝日が堂内を明るく照らしたであろうが、いまは幻想的な光が堂内を満たす（写真⑥）。

礼拝堂の奥の壁には、頂部を三角形にした「天国の門」が開かれ、その向こうに、ステージのように聖壇（教壇）が設けら

れる（写真⑦）。聖餐台は、ステージ前面の立ち上がりから引き出されるスライド式である（写真⑧）。これは遊戯室として広く活用できるよ



写真⑥ ギャラリーのステンドグラス



写真⑦ 聖壇

# 漢和字典は面白い

4  
鶴上寛治

## 凄

一体どんな妻? 雪女か? 妻が凍り  
(シ) 付くのはどんな時か? 凍りつ  
かせたことのある人には分かるだろう。  
「妻」の部分は凄・齋に通じ《出さろう》

の意。——《雨や雲が出さうつて寒気がする》となり、  
そこから《すごい》ことになったのだ。身の毛がよだ  
つ、とまでは言わないにしても、けつて快い感触で  
はない。凄と凄——どっちがよりすごいか? 対決さ  
せてみますか。どちらより我が「妻」こそがすごい、  
とおっしゃる方——お気の毒様。優しい「妻」に恵ま  
れた男性には全く無関係な話。

最近では very beautiful のことを、「凄く美しい」とか  
「凄美しい」とかいうようだが、正しい(シ) 日本  
語にこだわるならば、これは×だ。特に形容動詞を「○  
○い」と形容詞のように使うのは耳障りだ。言葉は  
生き物だから50年後はそのように変わっているかもし  
れないが……平成時代まではまだ市民権は得ていない  
のではないか。況と況 涼と涼 沖と沖 准と准  
など、どっちがどっちなのかわからなくなる時がある。  
漢和字典で調べてみませんか。きつと新しい何かを  
発見するはず。

## 匿

音読みはトク。意味は《かくれる・  
かくす・にげる・よこしま》。ところ  
でこの字の「若」の部分は《すなおで  
おとなしい》の意。(本当にわかい者  
はすなおかな?) そこから《個性を出さずかくす》  
の意味となる。隠匿・秘匿・匿名などと使われる。

庶民みんながあらゆる物資の不足に苦しんだ戦  
中・戦後には、隠匿物資というものがひっそりと出回っ  
ていた。「あるところにはある」という言葉がささや  
かれ、ひもじい腹を抱えながら、その言葉を遠い世  
界の話と聞いたものだ。物資不足の小規模のものは  
オイルショックの時に経験されたはず。戦争はそう  
いうものをもたらすということを肝に銘じておきた  
い。

「諾」の場合の「若」は《うべなう、ことばでこた  
える》の意味で、《かくす》とは逆の意味を持つ。承諾・  
諾否と、日常生活にも深く入り込んでいるが、ほと  
んど人々を悩ませることはない。「若」は《ことし》  
とも読む。矢岳トンネルの入口にかかる石額に「天  
險若夷」の文字が書かれている。

【つるかみ・かんじ／人吉市】



写真⑧ 引き出された状態の聖餐台

うに、と考え出されたアイディアだっ  
たようだが、聖餐式を説教ほどに  
重視しないプロテスタントだからこ  
そ可能だったとも言えよう。  
またこのスライド式聖餐台の前に  
は、「恵の座」とよばれる内陣境の  
柵が、可動式で設置可能であった。  
これは祈りや配餐の場にも活用され

る。そもそもプロテスタントは、内  
陣外陣なく堂内の一体感を大切にす  
るものであり、「恵の座」はそれに  
反するのだが、プロテスタント系会  
派のなかでもメソジストでは、この  
「恵の座」を伝統としていたようで  
ある。今では、これを撤去してギヤ  
ラリーに収納している。

ところで設

計者は不詳  
である。施工  
者は辻組(辻  
長次郎)で、  
現在の九州  
建設株式会社  
(福岡)であ  
る。辻組は  
少なくとも  
大正末から

昭和二五年(一九五〇)まで、九  
州学院ブラウン記念講堂など二十  
軒のキリスト教施設を施工してい  
る。そのいくつかは著名な建築家  
ウィリアム・メレル・ヴォーリズの  
設計である。ヴォーリズは明治学院  
大学チャペルなど、多くの教会堂で  
木造サイソート小屋組を採用してい  
る。辻組と組んだ作品でも日本福  
音ルーテル小城教会や長崎活水女  
学院新棟チャペルで採用している。  
特に小城教会は持送りの形状まで、  
先行する八代にそっくりである。こ  
の辺りの事情も推理しつつ、ぜひ堪  
能したい建物である。

【もりやま・まなぶ／高専教員、一  
級建築士、八代市】

# 河川から上流まで、その駅を訪ねる 球磨川の駅・ものがたり

連載その② くま川鉄道・おかどめ幸福駅



熊本産業遺産研究会 松本晋一

木上駅から、次のおかどめ幸福駅までは僅かに1・7 km。球磨川河畔から線路は次第に離れ、左に木上大橋を見ながら約1 kmの直線を免田西地区へと向かう。線路は地図上で国道219号線と700 mの距離を並行。おかどめ幸福駅まで殆んど勾配のない平坦な路線が続く。平野第二踏切右手には才園子安観音が鎮座。球磨川左



才園子安観音

岸には昔の発船場や船大工も在った。川面にはなめり岩も見え、橋からすぐ上流の立岩と市房山の眺めは遠い昔の風情を醸し出す。今も立岩



ふるまち橋から深田立岩（左手）、市房を望む。下は昭和23年の立岩（麦島勝氏）



井上微笑の句碑

には舟を舳う小孔跡があり、明治末の船着場を詠んだ俳人井上微笑の「大根舟続く黒船下り舟」の句碑も在る。黒船とは旧深田銅山の岩石を載せたものであろうか。

## おかどめ幸福駅

この駅は平成元年11月1日、国鉄湯前線がくま川鉄道に移管時に開業の1面1線の無人駅。起点から13・1 km、隣の木上駅からは1・7 kmのあさぎり町免田西字岡留1423―2に位置する。標高



駅正面と幸福を運ぶポストマン



待合室から幸福ポスト、大絵馬方面

は139・9 m。駅名のおかどめは、駅のすぐ東に在る岡留熊野座神社にその名が由来する全国唯一の幸福駅。この名称にちなみ、平成21年4月には、現在あさぎり駅2番ホームに保存中の自然博物館列車KUMAI、KUMAI II号列車を貸切つ

たブライダル列車がこの駅まで運行された経緯がある。2011年の日平均乗車人員は53名（降車は含まず）。同年4月、この駅は命名権を得て頭に「ファッションハウスクロバー」の副名称を付与、同名の北海道広尾線の幸福駅は昭和62年



開業当時のおかどめ幸福駅（平成元10・福）と  
岡留自然公園（平10、4・福）



岡留神社大鳥居

駅の東側にある岡留神社の岡留公園は景色も良く、休日は親子連れで賑わう。  
今年10月1日には「くま鉄まるごとマルシェ・くま鉄まつり」が治

線の5駅で開催され、1日乗り放題500円の乗車イベントもあり、この駅では、あさぎり地域婦人会他から各種のお店が出て賑わった。近くには「才園古墳群」があり、以

前にはイチゴ狩りの農園も在った。かつては神社以外に訪れる所ではなかった免田西地区に、町の活性化の一環として、国鉄からくま川鉄道への移行時、世の中の幸福を願う「観光駅」として、公立病院前、新鶴羽の2駅と同時に開業、当時は駅



駅の売店（吉松さん）と  
記念入場券

も販売している。この切符は毎月1000枚ほど売れたとのこと。駅隣の売店に13年勤務する吉松由

美さんに聞くと、土日は家族連れで賑わい、九州各地からの訪問客も多いとのこと。11月初め、吉松さんには売店が物販販売加工所へ移行するための一時閉店に伴い、「くま鉄」からねぎらいの感謝状が贈られた。

2月に廃駅となっている。駅舎は無人駅とは思えぬ優雅な神社風、駅舎正面入口には鈴が下がり、右手には願い事を祈る絵馬架け板が設けられている。右手には「幸福行きポスト」を設置。駅

真向いの小高い岡にも横15×縦1.2mの大きな絵馬（須永博士イラスト）が設けられるなど、「幸福」をもたらす仕掛けが多い。その上、駅左手には「おかどめ幸福地藏菩薩」まで鎮座するのである。記念入場券（190円）もハート型で「幸福への切符」と印刷され、駅舎隣の売店や次のあさぎり駅でも販売している。また、くま川鉄道25周年、湯前線開通90周年の記念入場券



くま鉄祭り（10月1日、福）

舎のみであった。駅の敷地は田圃で、線路は低い築堤であったが、埋め立てられレベルは高上げされている。

駅正面右手、200mにある岡留神社入口には大鳥居があり、石段を昇ると桜と梅の岡留自然公園が造られている。



岡留公園から見た深田方面

る。この丘陵から展望は正面に深田の草津山、高山が目に入る。右



同 貨車を牽くSL58654 (昭50、2 福)

手には免田川橋梁を渡るディーゼルカーも一望出来る場所である。42年前は写真のように藁葺きの民家の横をSLがゆつくりと貨車を引いていた。

〈参考資料〉

・「川の記憶」 麦島勝写真集2002 葦書房

・盆地を走る駅シリーズ「おかどめ幸福駅」平成21年5月14日人吉新聞

・田舎の情報誌「あさぎり」 熊本県あさぎり町

・「吉松さんねぎらい感謝状」平成29年11月8日 人吉新聞

・ウイキペディアおかどめ幸福駅

○資料提供…(福)は福井弘氏 写真提供他

○聞き取り…吉松由美氏

※前号訂正…P27きのえ大橋傍には「天子の水」という湧水がある↓きのえ大橋の奥600mには花菖蒲と熊本名水百選二つ「天子の水公園」がある。

## 維新150年を考える

# 坂本の製紙工場小史 (2)

上村雄一

### 工場地

四人の男たちは、製紙会社の場所を坂本にすることに決めたのだが、その理由はどこにあったろうか。ほとんどが山地で本格的工場を建設する場所として坂本は必ずしも適地ではない。しかも当時、まだ鉄道は開通しておらず、工場用の機械は八代から川舟で運ばなければならぬ。下流に向かうときと違い、川舟を上流に引き上げるのは難しい。しかし、積極的スタンスの者からみれば、こうした疑問は凡庸で、工場を稼働させるうえで不可欠のものを考えるのが企業者（起業家）である。工場を稼働させるうえで必要なものは、動力源としての川の流れであり、製紙のために必要な水である。この二条件を重視すべきで、彼らが目をつけたのは「油谷川」であった。

当時は「鮎帰川」とよび、『会社史』も鮎帰川と記載している。江戸時代もそうであった。そこで小論では「鮎帰川」とする。

鮎帰川をながめてみると、それほど水量が多いわけではない。しかし、鮎帰川は江戸時代から木材搬出に有益な川として有名であった。たとえば球磨領万江山の材木の搬出などは鮎帰川を利用した。

工場地は「塩土」という。坂本地区と油谷地区の間にあって、現在と同じく、盆地状であった。2軒の家屋があるほか、墓所と雑木林の土地であった。こうした状況も工場選定の理由になったであろう。

経営者側は直ぐに造成工事に着手できると予想していたようである。しかし、そうではなかった。墓所や櫛木の移転料を住民がもとめ、地元事務所は対応に苦慮した。

櫛木（ハゼの木）は一本20円、墓所については一箇所3円の移転料を住民は求めた。「油谷」、「坊木場」、「片岩」の住民がとくに強く要求した。交渉の末、櫛の木は一本2円50銭まで、墓所については一箇所1円まで会社が支払うことで合意した（住民一人とは合意に至らなかった）。

住民と合意したので工場建設をはやめるために移転料を直ちに支払おうとしたが、現場事務所には手持金がなく、下松求麻村の名誉村長・舟津康次が金350円を立て替えた。舟津は小崎辻地区に住む豪商で、弟が



肥薩線の橋梁。鮎婦川としている

薩摩と懇意にしていたことから、政府軍が坂本で薩摩軍を討つたとき、舟津は身の危険を感じた。じつさい、薩摩軍は舟津の住む小崎辻を焼いた。

### 地主層の対立

住民要望を単純な金銭獲得にあつたとみてよいか。「油谷」・「坊木場」・「片岩」は上松求麻村に属し、「塩土」もそうである。しかし補償金を肩代わりしたのは下松求麻村の舟津であつた。

明治29年7月5日、工場誘致の嘆願書を八代郡長（辛

### 《上・下松求麻村》

上松求麻村（カミ・マツ・クマムラ）と下松求麻村（シモ・マツ・クマムラ）。両者を併せて「マツ・クマムラ」と呼ぶときもあったが、行政単位として両者は別であった（同一の時期もあった）。鮎婦川を軸にその南側（右岸側）を「下松求麻村」といい、北側（左岸側）を「上松求麻村」というが、「片岩」・「油谷」地区のように鮎婦川を基準にできない場合もある。両村は方言のちがいはじめとして生活文化は必ずしも同一でない。昭和35年、葦北町百済来村と三村合併し、坂本村となり、坂本村は旧八代市などと合併し、八代市坂本町になった。

島格）に提出しているが、そのときの提出者は「上・下松求麻村有志一同」で、その名簿をみると下松求麻村側は名誉村長の舟津をはじめ有力者の名前を並べているのに対して、上松求麻村側の名簿には村長をはじめとする有力者の名前がみえない。工場誘致について両村には微妙な温度差があつたようである。

『会社史』によると、水路敷地の買収がすすまないので調査してみたところ敷地の所有者（地主）と周旋人（「有志一同」に名のある者）の間に「遺恨」があつて買収が進まなかつたと説明している。「遺恨」（私憤）の内容を『会社史』は説明して



製紙工場跡地。字名「塩土」。もともと盆地で2軒の家屋があつたが、ほとんど雑木林で、墓所でもあつた。（現・くま川ワイワイパーク）

いないが、坂本の支配層（地主層）に対立があつたのは間違いなく。対立は金銭的に解決（調整）されている。水路敷地買収問題のときも、

舟津が金銭を肩代わりしている。外観的には、上松求麻村内に「対立」があり、下松求麻村側の有力人による「対立の調整」という構図がうかんできくる。先の櫛木、墓地移転料問題も「遺恨」が関係しているかもしれない。会社からみれば、現場対策者と考えていた人物が地元地主と「対立」していたのであつて、予想外に展開として受け取つただろう。

### 経営内部の力関係の変化

熊本市役所での会合後、四人の男の役割はしだいに変化していった。明確になっていったとみるべきかもしれない。岡崎唯雄と上羽勝衛が事務作業をすすめたが、結論としては、国権党グループが取締役会の役員になり、実学党メンバーは監査役にまわつた。藤村紫朗と岡崎が取締役になり、上羽は監査役になった。安場保和は形式上身を引き、彼の養嗣子の安場末喜が技師長兼工場長に就任し工場設置場所の選定を実質的にリードした。それは当初から予定された結論であつたかはわからない。保和が横井小楠の直系であることを考慮すれば党派のバラ



「塩土」は、今も霧が発生しやすい



雪が降った日の坂本工場。マシンの音だけが響いていたという

して作業した。  
道路変更工事、山端の切り崩しなどの土石の運搬は女だけがこれにあたった。男はしていない。『会社史』は「もともと此土地は女もよく働く処」と書いている。この土地にかぎらず、山間部の女はどこでも肉体労働を懸命に

していたにちがいがなく、坂本が特別であったわけではなからう。  
土石はメゴで運んだ。一荷の運び賃は一厘で、「二文担い」といった。100荷で10銭になる。当時、米一表一円、鮎100斤2銭5厘、唐芋100斤30銭であった。

鮎より唐芋が高額である。賃金は現金でなく、会社発行の「就業之証」とする札を与えて月末に現金と交換する仕組みであった。炭鉱などで使用されていた「賃金支払方法」と同一である。

炭鉱では、炭鉱経営の店舗での利用を強制されていたが、坂本工場もそうであったかは確認できない。八代方面まで含めて通貨として使用されていたと指摘されている。貨幣として流通する場合、割引されるのが通常で、人夫の手取り賃金は多額でなかったはずである。「就業之証」は最初から導入され工場竣工時までの約2年間使用された。

【つえむら・ゆういち／編集主幹】

### 女子労働―朝4時から、松明をともしながら

明治29年（1890年）12月11日から工場敷地の整備（地均し）作業を開始している。当時の道路（里道）は現在の県道とはちがう経路だったようで道路変更工事を最初におこなった。早朝4時からの作業であった。濃霧が発生し三尺（1メートル）先も見えず松明をとも

ンスはとれているともいえるが、有司専制の官僚派が会社の実験を握ったともいえる。当時は、「上からの産業革命」が実施しやすい事情もあったのかもしれない。安場末喜は、1858年6月1日（安正5年5月1日）に細川藩士・下津休也の五男として生まれ、安場保和の長女・トモと結婚し、安場家の嗣子となり、保和死後は男爵の身分をふくめ安場家をすべて引き継いだ。  
安場末喜の登場後、下益城郡杉台村から八代郡上松求麻塩土に工場設置場所が変わり、会社名も肥後製紙株式会社から肥後抄紙株式会社へ、更に東肥製紙株式会社に変更した。「東肥」は肥後の意味（西肥は肥前の意味）で、国権党グループが好む名称であった。

### 《コラム 上羽勝衛》

明治29年(1896年)12月1日会議(熊本市役所)の出席者の一人。  
天保13年(1842年)4月4日～大正5年(1916年)10月30日。  
宇土郡宇土町で、細川・宇土支藩(三万石)の藩士の子として生まれる。宇土支藩・藩校「温知館」、細川本藩の藩校「時習館」で学んだ教養人。明治4年(1871年)には、有名な「熊本洋学校」の教授(漢文科)に就任。同6年には熊本県で最初の小学校教科書を編纂。勝衛の子孫は、勝衛を「熊本県の小学校の教科書をつくった人」として、それを一番の誇りにしている。  
その後、宇土、山鹿、山本、菊池、合志などの郡長に就任し行政官として活躍。同時に、九州鉄道株式会社の創立に参画するなど実業界、特に銀行業界で力を発揮した。晩年は、宇土で清貧のうちに暮らした。墓は宇土にある。熊本地震で損壊したが、最近、修復された。実学党の代表者のひとりであり男女同権、民衆運動に理解を示した。  
勝衛の子孫は坂本に社員(株主)として残り、大林地区に居住し、その子どもたちは藤本小学校・松凌中学校に通った。その後、大林地区から藤本地区(駐在所跡)に転居し、そののちには上松中学校に通った。子孫の一人は旧坂本村収入役なども勤めた。そのため上羽家は坂本では有名である。勝衛のひ孫にあたる人たちはたびたび坂本を訪れ、球磨川で遊んでくれるなど、坂本を「故里」と感じていただいている。



# くまがわすじの考古地誌

(15)

## 球磨川筋の弥生時代⑮

八洲開発株式会社 木崎文化財研究室長 木崎康弘

(NO.176)



写真 夏女遺跡と高原台地

### 「免田式」を使おう！①

### 夏女遺跡との再会

前回のテーマは「再び『免田式』を使うてくたさい」（木崎二〇一七）だったが、その最後をこう締めくくった。

「そこで、高田と一緒に、再び叫びたい。『免田式』を使うてくたさい」と。そもそも、「免田式」と命名した小林行雄は、南九州のB様式の「土器」の特に発達してある肥後国球磨郡免田地方にちなんで免田式の名称を用ひたい（略）（小林一九三九）との認識だった。つまり、単に重弧文土器だけを取り上げて「免田式」と呼んだわけではなかったのである。こう

したことだから、敢えて「免田式」を使う必要があるのではないか、そう考えた私は、山鹿市蒲生・上の原遺跡の報告書、『蒲生・上の原遺跡一

県営農業基盤整備事業に伴う埋蔵文化財の調査一』（木崎編一九九六）の中で、球磨郡錦町木上の夏女遺跡で発掘された土器を基準に使用したのだった。そこで、回り道となるが、夏女遺跡の発見の話から口火を切りたい。

一九八八（昭和六三）年度のある日のことだった。私は、上司の命を受けて、後に南関町教育委員会でご

化財の仕事をするることになる坂本重義と一緒に、球磨郡錦町木上の高原台地を歩いていた。ここでは、熊本県が農林漁業用揮発油税財源替農道整備事業（農免農道）を計画していたのだった。

高原台地とは、人吉盆地のほぼ中央部、川辺川が盆地に流れ込もうとする付近を要の位置にして、扇状に広がる洪積台地である（写真）。この台地の成り立ちは実に面白い。それを教えてくれるのが、地層の様子（図）。余談になるが、少し触れてみよう。

まず基盤は、火砕流堆積物の加久藤溶結凝灰岩

である。今から約三二万年前のこと、現在の鹿児島県湧水町から宮崎県えびの市・小林市にかけて広がる加久藤盆地（カルデラ性盆地）で、大噴火が起きた。その時、噴き出した火砕流は、人吉盆地内に流れ込み、標高二八〇メートルのレベルまで埋め尽くした、と考えられている（内田・田中他二〇二二）。標高二五六～一四四メートルの高原台地は、この火砕流堆積物、加久藤溶結凝灰岩が基盤となっているのである。因みに、石倉を造る時に用いられる深田石はこの溶結凝灰岩である。

次に、標高二八〇メートルレベルで埋め尽くされた面には、間もなく球磨川や川辺川などが流れ込み、開析は始まることになった。平たく言う、川の流れが溶結凝灰岩を削り始めたのだった。



# 川辺川ダム建設反対 住民運動資料の編集に携わって

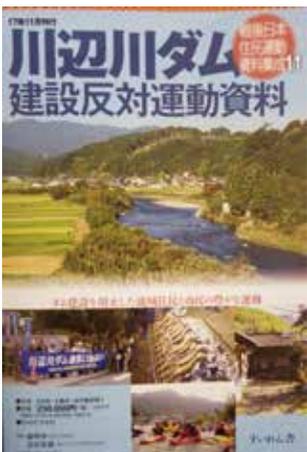
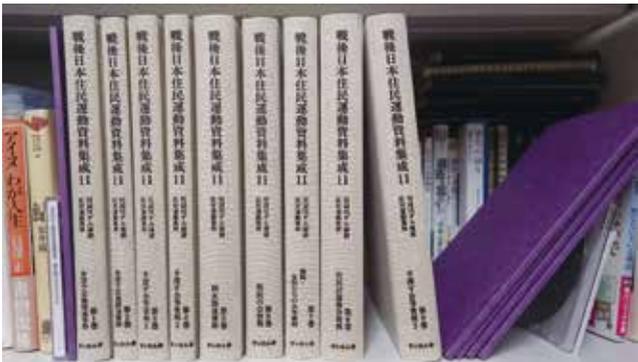
高知大学助教 森 明香

2017年11月、『戦後日本住民運動資料集成 11 川辺川ダム建設反対住民運動資料』（すいれん舎）が刊行された。

『戦後日本住民運動

資料集成』シリーズは、戦後日本が高度経済成長に猛進する中、公害や開発、環境汚染などの危機にさらされてきた全国各地の住民が、いかにして権力に抵抗してきたかという生の記録を収録したものである。これまでに「草の根通信」や新潟県の巻原発住民投票運動、三島・沼津・清水町石油コンビナート建設反対運動や高知パルプ生コン事件などを取り上げてきた。

『川辺川ダム建設反対住民運動資料』（以下、川辺川資料）には、住民・市民団体の会報や機関紙、学習会などのチラシ、訴状や意見書、個人の手記などが収録されている。紙幅のため全てではないものの、川辺川ダム建設反対運動に関わる様々な主体の当時の細かな動きを辿ることができる内容となっている。



2016年夏から「川辺川資料」の編集に携わる中で、筆者は事務局や家庭で保存されていた資料の収集、DVDに収録するため運動団体の代表などキーパーソンへのインタビューのお願い等を行ってきた。運動のメーリングリストを使って欠落した資料探しを呼びかけてくださった方や、熊本地震の後で家が大変な中で資料を探し出してくださった方もいた。1年がかりでの編集となつてしまつたが、この場を借りてご協力くださったみなさまに深く御礼を申し上げます。

学生ボランティアに来た先輩・後輩と（2004年）

筆者は大学生だった2004年から川辺川ダム問題の現場に訪れるようになった。その前年、川辺川の境田橋から飛び込む中学生の姿を捉えた村山嘉昭さんの写真を見て「こんなきれいな川があるなら行ってみたい」と

の思いを抱いた。当時はそう思っただけで、川辺川ダムのことを聞いてもよくわかってはいなかった。初めて人吉市を訪れたとき、目抜き通りに「川辺川ダム建設絶対反対」と書かれた巨大な看板を掲げたくまがわハウスに驚き、川霧に包まれ川が中心となった町の在り様にとても惹かれた。当時はすでに利水裁判は判決後で、住民討論集会も森林保水力の共同検証に移行し、漁業権や土地をめぐる収用委員会もいわば終盤だったと思う。長い運動からすれば一番苦しいときは過ぎていたのかもしれないが、川辺川ダムに反対する人びとは計画を確実に止めるために粘り強く運動を続けていた時代だった。遠くから訪れる学生を、みなさんは歓迎しているのと良くして下さった。いま思えば、みなさんがどれだけ大変なことを手弁当でやっていたのか、わかっていなかった。

今回、改めて流域内外の住民・市民運動資料全般を集めて精査するなかで、どれだけ多くの人びとが運動に関わっていたのかということにまず驚いた。熊本、福岡、東京、関西、アメリカなど運動が全国へと繋がりにながら、様々な生業の人たちによる多彩な運動が緩やかなネット



ワークを保ちつつ展開されていた。また、事業を進めようとする国に異を唱え抵抗しながら、地域社会の中で生活し続けることがいかに大変だったかも、インタビューや刊行のご挨拶のために再訪する中で改めて思いついた。

「川辺川資料」の中身についてもごく簡単に触れておこう。

「川辺川資料」は全9巻、別冊の解題に加え「聞き取りDVD」を付属している。1、2巻



では、ダム建設に伴い水没予定地となった五木村にまつわる資料を収録した。慎重派の姿勢をとった水没者団体の会報「ふるさと五木」や、ダム水没予定地に唯一残った農家・尾方茂さんの手記などである。3、4巻では、人吉市などの下流域においてダム反対運動を担った市民グループ「清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会」らの会報やチラシ類を、その前身の時代のものも含めて収めた。5巻は利水訴訟に関する資料群とダム計画の「受益地」の水害体験者による資料を、6巻は熊本市を中心として運動の全国展開を担った「子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会」のニューズレターを主に集めた。7巻には売れるアユを守ろうとした川漁師および漁民支援を買って出た市民団体の会報やチラシにくわえ、ダム本体の原石山を生息域としていたクマタカ調査や荒瀬ダム撤去を促した新聞(ミニコミ)を一部掲載した。8巻では2001年から行われた住民討論集会にまつわる資料を、9巻では収用委員会から検討小委員会を経て白紙撤回に至るまでの市民団体の動きと、流域および県知事に

よる白紙撤回表明の発言録などを、それぞれ収録した。別冊の解題では川辺川ダム建設反対運動を鳥瞰して半世紀以上にもわたるその軌跡を辿り、DVDには先述の通りキーパーソンへのインタビューを映像として収録した。

価格は25万円(税抜)、都道府県立や市町村立の図書館や大学・研究所など学術団体を主な販売対象にしており、県内では熊本市立図書館がすでに所蔵している。



人吉市中心部にあった2代目くまがわハウス

先進諸国において、ダムの時代は終わったはずだった。ダムは確かに電力や水利などの恩恵をもたらした。その一方で、巨大ダムは山や川と共に暮らした川の自然を犠牲にすることでしか成立しない技術でもあった。巨大ダムによって失われたものが多かったからこそ、21世紀の幕開けは「ダムの時代の終わり」と共に迎えたのである。川辺川ダム建設反対運動もそうした世界的な潮流の中に位置付けられるものだったと思う。しかし今日の日本では、なおも治水やツーリズムなどと結びつけられながら、既設ダムの利活用を標榜した「ダム再開発」の動きが促進されている。今なおダム問題は終わってはいない。そんな時代だからこそ、川辺川ダム建設反対運動に学ぶものは大きいと思っている。

資料集に関する問合せは、「すいれん舎」 ☎  
03.5259.6060、masato@surenshajp

【もり・さやか／高知市】



現在、健康をキープするのは実は難しい時代になってきています。私たちが生きていくために必要な栄養素は大きく分けて6つ。糖質・

脂質・タンパク質・ビタミン・ミネラル・食物繊維です。

炭水化物や肉類がメインの現代食では、糖質・脂質・タンパク質を取り過ぎる傾向にあります。これらは主にエネルギー源になり、筋肉や皮膚をつくる大事な栄養素ですが、過剰に取り過ぎると脂肪となって蓄積していきます。半面、ビタミン・ミネラル・食物繊維は不足しがちです。これらは体の代謝を助け、メンテナンスする役割を担っています。

身体の偏った栄養を整え、心身ともに調子の良い毎を送りたいものです。

その為に、日々のお買い物に小さな知識をプラスすることで改善できます。今回お勧めするのが「ファイトケミカル」です。

上記で説明した6つの栄養素の他に、今注目されているのが、植物に含まれているファイトケミカルです。

例えばトマトに含まれている「リコピン」、これは強い抗酸化作用があり、紫外線から肌や目を守ってくれる働きがあります。さらに、リコピンの大きな特徴は「赤」。この赤色こそリコピンの色なのです。つまり、色が強い植物にはファイトケミカルがある事になります。今回は、基本のファイトケミカルを5色ご紹介します。

「赤」はリコピン。体内の毒素を排出し、美肌を目指したい方はぜひ赤い野菜を取り入れてみてください。

「緑」、これは食物繊維。ホウレン

ソウやシソ、バジルやクレソン。体内をデトックスし、腸内を整える働きがあります。

「橙」カロチン。免疫を上げる栄養素です。冬にみかんを食べると風邪をひきにくいと言われますが、これはカロチンの持つ「橙」の力です。

「黄色」ビタミンの色です。これはパワーチャージとして重宝します。バナナや黄な粉、かぼちゃや生姜などが有効です。マラソン選手が、走る前にバナナを食べるのも納得がいきますね。

「紫」ナスやプルーン、ブルーベリー、赤ワインなど。これらはアントサイジングのアントシアニンです。リコピンと一緒に取ると抗酸化作用は相乗効果ですし、目の神経にもいいとされています。

いかがでしょうか。日々のお買い物の際、このファイトケミカルの色



【うらかわ・はるか／人吉市「さんぽカフェオーナー」】

で野菜をチョイスして、賢い食卓を目指してみましよう。食卓は、賢く楽しく！ だと思えます。毎日の食を変えると、ゆっくりですが、確実に美容と健康をキープできるはずです。

## 異風昔話

前田一洋

## 小太り爺

原典『宇治拾遺物語』

ゆうと昔のことじゃあるいどん、東と西の向かいどうしイ爺どんたちのおつやいたげな。そして一人つとめ呑み過ぎ食い過ぎが元で、そいくさ関取のごと太とかうえ、ふうたんにコブまであつたげな。東の爺どんにや両方、西の爺どんにや片つりや。せいもんじやつでツラしやか見れば、コブ喧嘩じやつたげな。

「わや片つりやしきやコブの無かで、いつでつちやひつかたびてされかんばんなよ」

「なんちゅうか、金ごろでばしあつとのごと、二つも下げて見たむなちゅうはなな」

そして東ん爺どんの山やたきもん取りイ行きやいたれば雨の降つきやうつたつたげな。せいもんじやつで太か岩のアグマきやとつとこつで雨宿しとらいたげなたい。そけ鬼どもが戻つて来てシユウチュ飲みしきやうつたつたげな。そして鬼が、「わいもかたつて飲め」ちゅうもんじやつで、一ちいしなつて飲うだり歌うたり踊つたりじやつたげなたい。

鬼共がよつぽだ気に入つたとじやろわい、「明日もこけ来やい、本日から

来れば戻す」ちいさみや片方のコブよばおつ取つたげな。

そんな話よば聞きさみやん、「おが先イ行たて、おがコブもおつ取つてもらわんばん」ちいさみやん岩屋ん下で待つとつやいたげな。したいばあんじゅら鬼共が戻つて来さみやん歌踊つ。爺どんもかたつて飲めや歌えやじやつたいどん、いっとへたじやつたげなもんじやつで「コブは持つて戻れ」ちいさみやん、反対側やうつぱけてくれたげな、コブの二つちよと二つと入れ替わつたげな。しみやー。

## 浦島鶴太郎

原典『伽草紙』

タンゴのクニちゅうは知つとつきや、べえよば波むコイタンゴじやなか丹後の国たい。

そけ浦島太郎ちゅうて、ふうきや

んがま出しもんの漁師がおつたげなもん、年のころ二十四、五ぐりやじやつつろ。そして子どもんがコナしおつた亀よば助けた明くつ日のごと、娘が一人乗つた小舟の流れて来たげなたい。

「おどんよば、竜宮城まで送つてくだれんどか。そすればおどまおまいさんの嫁さんになつて、シンから尽くす」。そのよに頼むもんじやつで、十日ばかりかけて送つて行たげなたい。そしたれば約束通り嫁さんになつて至れり尽くせり。そん娘、本当は太郎が助けた亀で、竜宮城の姫様じやつたとげなたい。

それから四十年、じやなかつた三年目。なんさま家やらトトさん力カさんの事も心配なつたもんじやつで、姫様に頼うで里帰つ。

とこいがどつこい「帰つて見れば恐い蟹」じやなかつた、あん時からいつ

のはじやか六百年も経つてしもとつたとげなでまい。竜宮城の一年な人間の世界の二百年分げなもん。

どぎやして分かつたとやて、

よかんびやーにそん日は歳の晩（おみそか）じやつたもんじやつで、電光掲示板で明日からの年号の出たり、今から六百年前には「応永の乱」で世の中は云々ちゅうニュースの出たりしおつたとげなたい。せいもんじやつで、そつからさんにゅ（計算）してみたいばなま六百年。

そつで納得、丹後の国の浦島ちゅう村までまで訪んね訪んねして行たて、会うもんごちイ「太郎ちゃんなれん



どか」「昔、亀よば助けた若もんたい」ちゅうて、どしこ訊ねたつちや誰もか「知れへん」「分からへん」。

そしたでトゼンのしなつた太郎は、姫様から「なるべく開けないでくんなんしよ」と言われとつたいどん、どう「玉手箱」の蓋よば取つてみたげな。そしたれば、紫の雲の三筋スーツ。

あれよあれよちゅうはじやー、太郎が姿は美しか鶴の姿にしまつたとげな。

せいもんじやつで太郎は、名も浦島鶴太郎に替えて、竜宮城さみや戻つて行たとげな。それから四十年、じやなかつた四百年も生きて姫様と暮らしたとげな。なしゅう四百年てなて、そら昔から鶴は千年、亀は万年ちゅうてあつどもん。人間な四十年でつちやぬさんて太郎は四百年も辛抱したげな。貞六さん。

【まえだ・かずひろ／人吉市】

# ヒヨドリとサクランボ

富永和信

我が家の小さな小さな庭に、いつの頃からか一羽のヒヨドリ（鴨）が、我が物顔で居ついている。居ついているというには語弊があり、椿や梅、キンカンやミカン、ブルーベリーの果実の完熟の頃を狙ってショートステイするるのである。

その庭たるや、庭の体裁をなしていないどころか、ハナミズキ、椿、梅、ミカンなど種々雑多が所狭しと枝葉を張り合っている。それらの木々の間の狭い空間にサクランボ、プラム、ブルーベリー、レモンなどそれぞれ二本ずつ肩身の狭い思いで空を仰ぎ、陽光を求めているのである。

先日、農林業専門の知人が我が家の庭を見て啞然として失笑。曰く、「好きなものを何でも植えりゃよいというものではないので」とお叱りを頂戴した。

そのような不遇の庭環境のなかで、今年はじめてサクランボが十数粒ほどの実をつけた。寒い頃に白い花をつけ、春先には大豆ほどの小さな実になり、それはまるで無垢の赤ん坊のようであった。それが四月の声を聞いた途端に色づき始めて家内を喜ばせた。

そして彼女は「ヒヨドリにやられる前に網を張りましよう」と言い出す始末。ブルーベリーの時も網かけ前に一部やられたので、急ぎよ柵を立てたのであった。かのヒヨドリは果実のみならず家内が大切に育てている花の蕾を食い荒らすのである。この憎き所業にも拘わらずヒヨドリのご乱行の際には、なるべくお邪魔しないように遠くから眺め楽しんでいたのである。

しかし家内が言うには「このサクランボだけは初めての大事な実であるから、一粒たりとも相手に渡したくない」と。そのサクランボだけは日、一日と色づき、小粒ではあるが、なんとも形容しがたい色艶が出てきた。

これまでの経験からして、このような色づき熟れた頃が、ヒヨドリ坊の格好の餌食となるのである。網かけは、サクランボの木をすっぽり包み込むように、逆U字形フレーム五本を使って足部を固定して上部を

しっかりと結ぶ。全体が動かないように組み立てるのであるが、枝葉が張っているの思った以上に難しい。それにしても、たかが十数粒ほどのサクランボ、大変な労力と散財(?)であり、他人から見たらお笑いぐさであろう。我が家の果実はすべて一本か二本の木になるので、成果品一個当たりの単価(コスト)は、スーパーでの購入価格の十倍から二十倍に相当する。このことは、家庭経済の観点からみると実に馬鹿馬鹿しい非合理的な所業である。しかし、かような不経済なことを性懲りもなくやっているのであるが、どうしてだろう。

人間には本来「合理性の追求」の本能と、それに対峙する「非合理生への憧れ」の本能があるのだと勝手に納得している。別の言い方をすると、年老いて「自然界の摂理」のようなものに対する素朴な回帰本能であろうか。

それはまあ「閑居老人」の一種の慰安(なぐさめ)であろうと言ってしまうそれまでのことであるが、そのような情緒を感じない人生もまた寂しいものであろう。

ただ一羽のヒヨドリの出現が遠い昔の少年時代の友と、故郷相良村柳瀬の実家の裏山に赤い木の実を餌にしたヒ

ランボが十数粒ほどの実をつけた。寒い頃に白い花をつけ、春先には大豆ほどの小さな実になり、それはまるで無垢の赤ん坊のようであった。それが四月の声を聞いた途端に色づき始めて家内を喜ばせた。

そして彼女は「ヒヨドリにやられる前に網を張りましよう」と言い出す始末。ブルーベリーの時も網かけ前に一部やられたので、急ぎよ柵を立てたのであった。かのヒヨドリは果実のみならず家内が大切に育てている花の蕾を食い荒らすのである。この憎き所業にも拘わらずヒヨドリのご乱行の際には、なるべくお邪魔しないように遠くから眺め楽しんでいたのである。

しかし家内が言うには「このサクランボだけは初めての大事な実であるから、一粒たりとも相手に渡したくない」と。そのサクランボだけは日、一日と色づき、小粒ではあるが、なんとも形容しがたい色艶が出てきた。

これまでの経験からして、このような色づき熟れた頃が、ヒヨドリ坊の格好の餌食となるのである。網かけは、サクランボの木をすっぽり包み込むように、逆U字形フレーム五本を使って足部を固定して上部を

しっかりと結ぶ。全体が動かないように組み立てるのであるが、枝葉が張っているの思った以上に難しい。それにしても、たかが十数粒ほどのサクランボ、大変な労力と散財(?)であり、他人から見たらお笑いぐさであろう。我が家の果実はすべて一本か二本の木になるので、成果品一個当たりの単価(コスト)は、スーパーでの購入価格の十倍から二十倍に相当する。このことは、家庭経済の観点からみると実に馬鹿馬鹿しい非合理的な所業である。しかし、かような不経済なことを性懲りもなくやっているのであるが、どうしてだろう。

人間には本来「合理性の追求」の本能と、それに対峙する「非合理生への憧れ」の本能があるのだと勝手に納得している。別の言い方をすると、年老いて「自然界の摂理」のようなものに対する素朴な回帰本能であろうか。

それはまあ「閑居老人」の一種の慰安(なぐさめ)であろうと言ってしまうそれまでのことであるが、そのような情緒を感じない人生もまた寂しいものであろう。

北御門 二郎・訳

## トルストイ短編集

帝政ロシア時代の物語を北御門二郎の「心訳」で贈る  
現代人へのメッセージ

新たに編集された「カフカの捕虜」「神は真実を見ぞなわす」「舞踏会の後」「壺のアリョーシャ」「贗造クーポン」の5本を収録

レフ・トルストイ/作  
北御門 二郎/訳  
表紙絵/田口宏昭  
北御門すすぐ・たえ子/編

■A5判/並製本/192頁  
■定価 1,500円(+税)  
送料 100円

発行元：人吉中央出版社



## 上杉芳野の「あがつ段」⑱

# お手々つないで

主人と結婚して44年になる。結婚を決めた頃は、主人の両親の面倒をみるとは全然思ってもいなかった。ただ、その頃は「カッコいい謙ちゃん、可愛い芳野ちゃん」と、うきうき気分の人だった。

結婚して熊本市内・北海道・横須賀と転勤が続き、生まれ故郷の地元に戻って来た。

「長男が親をみる」と昔の人たちが言っていたことを実行したのだった。私たちは一緒に住んで両親をみることに何の抵抗もなく主人のいう通りにした。

主人の今の母は、主人の

実母が51歳で病気で亡くなり、その後に来て下さったお母さんである。子どもさんもいらつしやらないので、小さい頃に母を亡くした私にとつて、一緒に生活出来ると思つた。だから、母に手紙を書き「これから本当の親子としてよろしく御願います」と書いたこともあった。けれども、故郷の主人の自宅に戻ってみると、まだまだ、両親は元気で、急に子ども三人を連れて帰つて来た私たちを手放しで喜んでもらえるほどではなかった。

例えば、両親がもつと年老いてから帰郷するので

は状況が違っていたのである。一緒に住んでみて、こう言つたら喜んでもらえるだろう、こんな事したら喜んで下さるだろうと、私の浅知恵ではあるが出来ることを実行してみた。それが、何をして、この母には逆効果で、これまで人とのつながりで悩んだことのない私が、それが悩みとなり毎日毎日が辛くて医師に「胃に穴があいている」と言われたほどだった。涙が日中も深夜も流れて、胸が苦しくてならなかった。

こんな私でも9キロも痩せてしまったのである。

もうお母さんとは一緒に住めないと思つた私は、あるとき手さげカバンに身の回りの物を、タンスから取り出して入れていた。

そのときである。小学二年生の上の娘が私の手をタンスから払いのけた。

「私でつちや、お母さんとおばあちゃんの声を聞いて、便所で泣きよつとばい」と泣き出した。私はハッと

私が母にいろんな事を言われて、しつかり耐えていることを何と小学生の娘が心を痛めていてくれたいたのである。

それがあつたから、三人

の子どもを連れて家を出ることはしなかった。

そんな小学生だった娘が成人式を迎え綺麗な着物を着て、髪も綺麗にして帰つて来たときも、あの時のあんな事があつた話を思い出して親子で涙が出た。

今思えば、あのころ、私に辛く当たつたお母さん

も、ご自分のお子さんもなく、淋しかったのだろうと思つた。

11月23日、水上村の祭りに呼ばれてボランティアで踊つた。

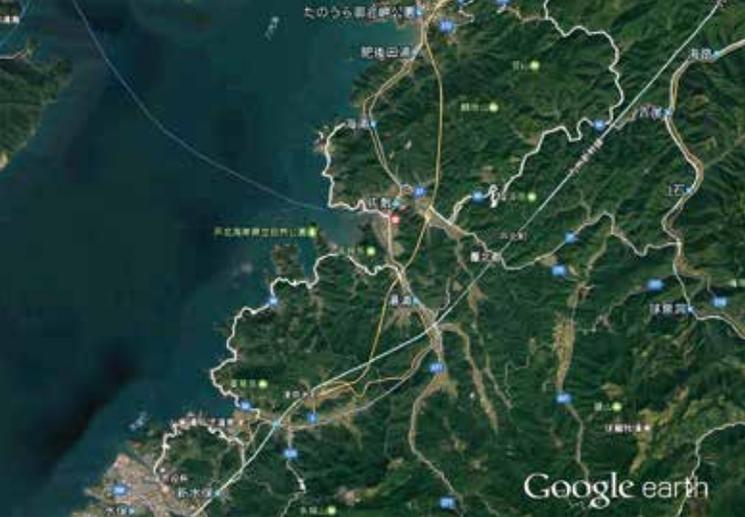
お母さんも一緒に水上村の私の舞台を見てくれた。「ニコニコしとんかった

ばい」とお母さんをみてくれていた友人が教えてくれた。

「お手々つないで〜」。これからが本当の親子になれる。「幸せばい」と言つてくれる母がここにいる

【うえすぎ・よしの／ボランティア観光バスガイド、あさぎり町上】





芦北海岸は7つの入江があり七浦とよばれているらしい © Google

新・日曜釣り師心得 ③

人吉に一番近い海

宮原赤竿

あれはいつだったか。そう、中学1年生の頃、三人で自転車を3時間漕いで芦北の海ノ浦へ行つたことがあった。

キラキラ光る海を見ながら「われは海の子白らなみのくさわぐいそべの松原にく煙たなびくとまやこそわがなつかしき」と同級生の奥田真也君が歌い出した。

さすが学校の先生のお子さん、私と出来が違う。

そこで中学校の音楽の時間で横笛を練習していた曲がつい、口に出た。「あした浜辺をさまよえば、昔

のことぞくしのぼるく、風の音よ雲のさまよく寄する並みも貝の色もく」と少し大きな声で海に向かって歌った。そこに、一つ下のまだ小学6年生の浦野耕二君が「ねえ、どんな意味な？」と聞いた。

「知らんとたい」と私。

そんな思い出の芦北の海岸線。

田浦から海の浦、鶴木山から計石。女島埋め立てから三島海水浴場、平国、赤崎へと海岸線が7つも入り組んでいる。だから「七浦」と言うんですと人には知ったかぶりをするが真実はわからない。

芦北へ釣りにいく季節は夏のダゴチン釣り。魚の養殖場の際に設置したイカダの上で、子どもの手でグウを作ったほどのダンゴの中に釣り針

外来語から学ぶ英単語 (21) …… 藤原 宏

イコール・イクウェーション・イクウェーター・エクアドル  
equal equation equator Ecuador

「equal (イーカル)、大きさ・数・価値・位などが等しい」は、ラテン語「aequalis (アエクワリス)、等しい・同形の・同大の」からの借用です。「equal opportunity (オポチュニティ)、機会均等」「equal pay for equal work (同一労働同一賃金)」のように使います。動詞として「等しくなる」意もあり、「2 + 2 = 4」は Two and two equals four. となります。

equal に「状態・性質・必要条件・程度」などを表す抽象名詞語尾「-ity」がついたのが「equality (イコリテイ)、等しいこと・平等・対等(数学) 等式」です。

動詞「equate (イクウェート)、平均化する」の名詞形が「equation (イクウェーション)、均等化・平衡(数学) 方程式」です。化学方程式は「a chemical equation」といいます。

「equator (イクウェーター)、赤道」は、太陽が赤道を横切るときの昼夜を「平分するもの」が原義です。スペイン語では ecuador (エクアドール) となりますが、南米北西部の共和国 Ecuador は、赤道が領土内を通過していることに由来します。

(387)



—九州場所休場後、責任とって引退—

4人の横綱で大相撲の人気も高まってきた中での暴行事件。貴乃花親方の態度も厳しい。今後の処分どうなる

ひんがし…  
げっかん・ぎびょう

にエサを刺して挿入。20 m程の海底まで一気にダンゴを落とすのだ。魚が海底に集まって来てダンゴを突く。するとダゴチン専用の竿の穂先



芦北海岸は合串（えぐし）港内にあるダゴチンが出来るイカダにて。左から、宮田、一柳さんと（9月10日）

がピクピクと上下するのだ。

「オオ〜ッ！」と

釣り人が驚くが、それは雑っ子。俗に言うエサ盗りなのだ。大ベテランはそこでは驚かない。御握りをほおぼり

お茶に口を尖らせて、まだ待つ。

ダンゴが少しずつ割れて、いよいよ本命の釣り針付きのエサが飛び出すと、それに食らいつづのが大物なのだ。

釣り人は、クーラーや小さなイスに座っているが、ここぞという時には、「来たー！」と声を出して立ち上がりざまに2 m程の短いダゴチン竿を天に向けて突き刺す。

竿先は大きく曲がり、もう竿の



ダゴチン釣りで釣れないのでサビキ釣りにきたコロ鯛（獅子島にて）

根元まで曲がりこんでいるのだ。ここで辛抱。

海底で大暴れする魚の動きで釣り人は「チンかによく〜うんにゃ〜うんばい〜！」と竿の曲がりど重さ、魚の暴れ方でわかるのである。

自分で掬えない程の大物が釣れると周りの釣り人が応援してタモで掬ってくれるのが釣り人のルール。

しかし、自分で最後まで掬って釣り上げるのが醍醐味でもあるのだ。

寒くなると、「寒チヌ、寒クロ、寒ボラ」とどんな魚でも美味しくなる

のがこれからの季節なのだ。

寒風が吹き海水温が下がると魚

は自分自身の体に油をまく。その油

が旨い油なのである。痛い程の北風に耐えるために耳を被せる帽子に手袋、腰や背中にホツカロンを貼って、イカダや堤防や岩場の上で心が燃え

たぎって魚の当たりを待つ。

「う〜ん〜ん！我慢出来ん」。

来週も行かんばん！

【みやはら・せっかん／熊本飛翔会会長、人吉市】

12月5日、将棋の羽生善治棋聖（47）が竜王戦を制し、前人未到の「永世七冠」を達成した。現在をゼロとして、すべての対局で勝利したとしても9年はか

かる。坂田三吉的な浪花節的側面、大山康晴的な駆け引きの側面を削ぎおとした功績もみす（せない）。

「永世七冠」を機に羽生棋士に国民栄誉賞を付与してもおかしくはないが、いまのところ、その動きは目立っていない。

## 永世七冠

平岡優平

る。疲労した身体からは最良の手は浮かんでこない。情性の一手でなく考えぬかれた一手をのぞむ。

竜王戦終着後の渡辺明前竜王の顔

は忘れられない。報道陣のカメラは羽生さんに集中し、そのことを通じて渡辺さんの失意をあぶりだしていた。将棋の世界では、普通にみられる風景だが、残酷な映像でもあった。

第4局で羽生3勝1敗で、次の第5局で「永世七冠」が実現するかもしれない。若者から観戦のさそいをいただいた。場所は鹿児島県指宿。行こうと思った。

しかし、風邪をひいた。指宿で「七冠」実現に出あえた人は幸せである。そういう状況は二度と出現しない。

【ひらおか・ゆうへい／八代市】



ハとユズルハは別ものとして片付け  
てしまおうわけにはいくまいと思いな  
おし、譲葉に続いて出ル羽を取り上  
げた。

前回、ユズリハ地名の用字で杠と  
書く例を紹介しながら「杠」の字  
解は省略した。漢和字典には「杠  
カウ 和訓はコバシ（小橋）」と  
ある。眼鏡橋を杠橋と表記するの  
を見かけるが、杠橋は橋梁と同義  
である。地名用語では梁が柳になる  
ように、杠（ハシ）が端（ハシ）に  
通じることから、ピンタ（端っこ）  
の語源であるユズルと杠が結びつい  
たことも考えられる。このようにユ  
ズル地名の頭語はあくまでユであ  
る。

これに対して出ル羽はイが語幹で  
あり、日本の正史にも登場する古く  
からのレッキとした地名である出羽

と同じ意味の表現と思われる。『続  
日本紀』には和銅元年（708）、  
越後を分割して出羽郡を建て、同  
五年に出羽国となったことが記され  
ている。

『日本地理志料』は『和名抄』の  
出羽国（以天波）について「鷲鷹の  
羽を貢納したので出羽と言うのは字  
を見て説をなすもので出羽というの  
は出端のこと」という説を紹介し、  
羽黒山の旧名が伊丘波山（イデハ  
ヤマ）であったことも記している。  
これによって出羽という地名は出分  
（デブン）とか出目（デメ）などと  
共通する地名であることがわかる。

五木村の字図を見ると、出ル羽  
は字内谷（ウチタニ）と字中村（ナ  
カムラ）の間であって、八代郡東陽  
村境に近い。内谷は村内（むらう  
ち）の表現とすれば、その出分が出

ル羽になる。中村は別項で述べるが、  
二つの村の中、すなわち入会地・共  
用地の例が多い。従って出ル羽は五  
木谷としては端っこの出っ張り地と  
なる。出ル羽の「ル」はデバではな  
くてイヅルハであることを示す捨て  
仮名であり古語の出羽（イデハ）系  
の地名であることを物語っている。  
旧飽託郡河内町（現熊本市）に  
は出羽村（イヅルハムラ）があつた。  
鹿本郡植木町との境界に位置する  
小村で江戸時代に大田尾村に吸収  
された。この村名由来について『河  
内町史』（地誌編）はユズリハ説を  
とっているが、前回検討したように  
樹木のユズリハと地名のユズリハは  
結びつききでないのである。

【うえむら・しげじ／宇土市生ま  
れ、元熊本日日新聞社記者】

# 倉敷便り

12

原田正史

## 岡山県地勢

岡山県は中国山地とそれに続く  
丘陵地からなる県北と、その南に広  
がる平野部からなる県南とに大きく  
区分されます。県南には瀬戸内海に  
浮かぶ島々も含まれますが、島々の  
大半が対岸の香川県に属している岡  
山県に含まれるものは僅かです。

瀬戸内海最大の島である淡路  
島に次いで二番目の大きさを持ち、  
「二十四の瞳」で有名な小豆島にし  
ても、陸地との繋がりからみると岡  
山県に分があると思われるのに、や  
はり香川県に属しています。これは

香川県の面積が岡山県の三分の一以  
下だということも関連しているので  
しよう。なお、県北の東部には、中  
国地方最大の盆地である津山盆地が  
存在します。その風景は我が故郷で  
ある人吉盆地への思いを、しみじみ  
と蘇らせてくれるものがあります。  
（我が胸の燃ゆる想いにくらぶれば  
流れはゆるし球磨の早瀬も）

県南の丘陵地末端部に存在する  
平野部を除いて、県南の平野部の大  
部分が江戸時代初期に開始された  
干拓工事によって形成された人工的  
な平野です。その丘陵地末端部には  
古代の港を意味する津のつく地名が

残されていて、古代には瀬戸内海の  
海岸線がその付近まで達していたこ  
とを物語っています。また倉敷市を  
例にとつても、島のつく地名が多く、  
玉島・玉島八島・玉島相島・連島・  
中島・児島・水島・羽島などと残  
されており、江戸時代以前にはこれ  
らが瀬戸内海に浮かぶ大小の島だっ  
たことを示しています。もちろん島  
がつく地名でなくても天城台とか鶴  
形山といったような名前も残されて  
おり、その台地状の地形から考えて  
みても海面から突出した島だったこ  
とを物語っています。

干拓工事によってこれらの島々の  
間に広がっていた海は水田となり、  
島々は水田地帯の間に点在する丘陵  
地となつて残りました。建設工事な  
どによって水田が掘削されると、必

ずと言えらるほどカキやハマグリなどを主体とする貝殻層が出現することでした。このように水田地帯の中に丘陵が点在する景観は倉敷市ばかりではなく、周辺一帯の平野部に広く見られます。

もともと県北を構成する中国山地は、浸食が進んだ山地であつて、県境を構成する山稜も千メートル程度の高さです。中国山地の最高峰は鳥取県の大山であり、1729メートルの標高であり、郷土市房山とほぼ同じです。ただ、違うところは市房山が隆起した古い山地が浸食されて出来ているのに対して、大山はおよそ百万年前の極めて新しい中国山地に噴出した火山だということです。大山は県北の北端の地にある蒜山付近からもその勇姿を望見

することが出来ます。その先端部は、鋸状であり、鋸と主峰からなる市房山に類似するものがあります。

瀬戸内海の島々の多くが、大阪城の石垣にも使われたことのある花崗岩の産地であることは、よく知られているところですが、実際には県北・県南を問わず、岡山県のいたるところに良質の花崗岩が広く分布するのです。したがつて石切場も多く、古くから石垣・石橋・石塔・墓石・礎石などの材料として数多く使用されてきました。花崗岩の本来の色は白ですが、永年にわたつて使用されると表面が風化されて淡い赤褐色を呈して、情緒豊かな風情を醸し出しています。誰も指摘することはありませんが、倉敷美観地区にしても見事な景観の基底をなすのは、風化し

た花崗岩であると思われます。

県南の平野部のほとんどが、干拓によつて造成された水田地であることから、これを潤すために灌漑水路が、作業用道路沿いのいたるところに張り巡らされています。水路の幅は狭いところで二〜三メートル、広いところでは五〜六メートル程度で水路と道路の間には何も無いのが普通です。したがつて歩行者や自転車に乗った人が水路に落ちる事故が後を絶ちません。もともと水田地帯にある道路は、荷車が行き交うだけで充分だったので、現代のように自動車時代になると相互通行も容易ではなく、更に道路側に用水路が並走していると危険性が増大するのです。地元の人にとっては、これが水田地帯における日常的な交

通事情なのですから、格別気にすることもなく状況を見て上手に運転しますが、用水路での事故も時々起きているようです。

用水路に接した道路脇では、背丈が四十〜五十センチほどもある灰色のサギをよく見かけます。名前を聞いたら「青サギ」とのことです。用水路に大量に存在する小魚を餌にするのだとのこと。近づいても



倉敷市の灌漑用水路（原田正史）

サギは逃げません。人との共存関係が出来上がつていて、水田地帯に見られる特有の風物詩といえるでしょう。その他にも海岸地帯特有と思われる大小様々な水鳥も飛来し、美しい歌声を聞かせてくれます。スズメも集団で行動するいわゆる群雀なのです。倉敷には「むらすゞめ」という銘菓がありますが、なるほどと思います。このように鳥が多いことと、あるいは関連するかも知れませんが、倉敷に移住して驚くことの一つは、多くの屋敷の庭に見事な松が元気良く育っていることです。今から四十年ほど前だったでしょうか、輸入材に着いていた松食い虫によつて国内の松の殆どが枯れるという大事件がありました。岡山県でも山地の松は一本残らず立ち枯れたこのこ

とでした。ところが倉敷の平坦地の松は、どういふことか生き残つており、その理由が何によるのか理解できていません。岡山市などの周辺地域も同様に松が残っているのか今後、調査が必要なようです。

岡山県は対岸の香川県と共に国内でも最も降水量の少ない地域として知られており、いずれも「晴れの国」といわれています。違うところは香川県が水不足に悩まされることが多いのに、岡山県では水不足になることが殆どないということです。地中海型の穏やかな気候を象徴するオリーブの木も数多く植栽されています。

台風も二回経験しましたが、小さい時から経験している南九州の強烈な台風のすさまじさを知る私から

## くまがわ春秋歌壇

いもご短歌会

新米の輝く色を盛り上げて戦時の釜の芋飯思う  
名も知らぬ小枝の葉先ひと乗朝の光と落ちなんとす

三原 竹二

田舎道手折れば種々の花紅葉集めて楽し七草となり  
孫ねだる菓子やおもちやはカタカナ語祖父母まどわすアメリカもどき

坂本 ケイ

菊薫る社を友と歩きけり菊に負けじと笑顔のポーズ  
朝顔の種を夫と採りにけり来夏の垣根思えば楽し

上田 廸子

筋肉の足が前へと嬰兒の<sup>みどり</sup>ところ狭しと這いまわりたり  
石路の艶やかなりし黄と緑石のかたわら温めている

宮川しのぶ

ひらめきを書きとめおけと友の言う寢床の横にメモとペン置く  
リイリりと鳴く蟋蟀<sup>コオロギ</sup>に耳澄す猛暑の夏を懐かしみおり

吉岡 弘晴

人吉の仲間と声も高らかに改憲ノーと木枯らしの中  
在京の友も国会包囲へと幾万人の一にならんと

上田 精一

すれば、普通の雨風としてしか思えないのです。もともと岡山県は南にある四国が防波堤のように立ち塞がり、西側の広島県、東側の兵庫県、そして北側の鳥取県のいずれもが山稜に接しているために、窪地のような状態になっていて、地形的に台風の直撃を受けにくいのです。また、鳥取県、広島県、さらに兵庫県のいずれもが雨なのに岡山県だけが晴れている日も決して珍しいことではありません。年間を通じて、いろいろな美しい草花が咲き続けるという穏やかな気候は人格形成にも大きく関与するようであって、地元の人はずいぶん親切な人が多いように思われます。

【はらだ・まさふみ／元人吉市文化財保護委員、倉敷市】

## マイ・文庫本

# 『イシマル書房編集部』

平岡陽明 著（ハルキ文庫）（2017年11月8日）

白城松男

倒産寸前の出版社（イシマル書房）。危機を避けるためにはどうしたらいいか。売れる本を出版するしかない。本作はこの当たり前のことを書いた小説だが、この当たり前すぎることを小説にまとめるのは、そ



『イシマル書房編集部』  
平岡陽明著（ハルキ文庫）

れほど容易ではない。作者・平岡陽明は「小説とは、根も葉もある嘘をつき、作品に生命を吹き込んで読者の心を揺さぶるもの」とする。もともとは角川春樹が発した言葉らしいが、平岡はこれを「エンタテインメント作品にあてはまる完璧な定義」という。確かに、そうであるわけでなく、文学的リアリティも示せない。荒唐無稽なことを書き、時的に読者を惹きつけることは不可

能でないにしても、根も葉もないのであれば読者はその作品を読むのを直ぐに止めるだろう。

出版危機の時代である。平岡はそれを自覚したうえで、倒産寸前の出版社について「希望を謳い上げすぎることなく、かといって悲嘆に安住しきつてしまわない人たちの声を聴きたいと願い、この作品を書いた」と述べている。結論的にいえば、粗筋が「できすぎ」ていて完成度は必ずしも高くないであろう。結論が早く出すぎている。それでもさすがは作家である。上手いなと思う部分がいふぶんあった。たとえば、本作に登場する、イシマル書房発行の二冊の本（作中の作品で現実には存在しない）。

第一に、『里山の多様性（ダイバー

シテイ』。著者は梨木。42歳。若者の地方移住や、里山保護を訴えるNPO法人の代表者で、都会生活や会社員人生に疑問を持つ若者が彼を支持し、SNSのフォロワーも多い。これは無理筋の状況設定ではなく、平岡が最近の傾向を適確に把握していることを示している。凡庸に考えれば、梨木の本は売れてよさそうだが、じつさいには、まったく売れていない。その原因はなにか。「梨木の支持者たちにとって『里山の多様性』は重すぎたのかもしれない。この人の考えはツイッター、フェースブックで伝えたほうが刺さるのだ」と主人公・絢子は考えるのだが、なるほどねと納得させられた。

第二に、島津『小説 古事記』。作中作だが、その一文を紹介しているのだが、上手いときかいいようがなく、存在しないにもかかわらず、他の部分も読みたいとの衝動にかられる。もつといえ、作者は、本作でなく、作中作を書いて欲しかったとさえ思えてくる。それほど出来がいい。そして島津が登場するあたりから平岡の筆も冴えてくる。島津自体が魅力的な人物として描かれると同時に、他の登場人物が動きはじめ、一気に読ませる作品になっている。

登場人物が動きはじめるかは小説が成功するかどうかの基準になるもので、本書でもそのことを指摘している。指摘しつつ、それを実践してみせているところに、作家・平岡陽明の才能がある。『古事記』を読み込み咀嚼しているからできた能力であって、そういう努力が含まれている本でなければ売れないとのメッセージがそこに含まれている。しかし同時に、作家は孤立して存在しているのではない。編集者・出版社・販売店との共同の連鎖のなかに作家は存在する。どの環も強くなくてはならない。それらの環の合成力が働くとき、「売れる本」の前提条件が備わる。

【しらき・まつお／八代市】

## 鶺鴒短歌会

### 十二月詠草

葉を落し秋のなごりの菊の花菝のトンボ休ませせてをり  
千切れ雲映す水面に枯れ葉浮き川辺の秋は今たけなはに

守永 和久

鹿児島島の火の山今も噴煙を黒く靡かせ東に流る  
太陽は西の彼方の天草へ今日を飲み込み海へ沈みぬ

河内 徹夫

告げられし検査結果は「良」と言ふ喜びのひと日空は澄みたり  
この国に四季ある如く人の世は紆余曲折ありと傘寿に思ふ

中村美喜子

観光の昭和新山帰り道手を添えし人今はいずこに  
函館山で熊笹道を分け入れれば帰りは友と談笑つきぬ

西 武喜

秋冷えに日溜りのなかこの頃は夫と共々日々を愛をり  
蝶たちはフジバカマ好きと聞きたれど吾が庭咲くを知らざりしかな

釜田 操

生うけて人の命は儂きものよ短い命も長寿の人も

緒方 保正

世の為に人の為に生きて来た我が人生に悔いはなければ  
集いたる法事の人々老い深く話し繋ぐも嘯み合わなくて  
突然の訃報に吾は動揺す深く眠れずしばしまどろむ

中原 康子

電木を稲刈り終えて取り去れば何処で聞いたか猪の影なし  
紅葉の五木見たくて来てみれば人の影なく風も寂しく

三原 光代

弓張りの輝き増して西空にわが逝く先も斯くありたしと  
満月の輝き増して沈み行き静寂を裂きて暁鳥の声

橋詰 了一

湧き出づる霧に街並み沈みゆき静寂の中に溶けてゆきたり  
年齢故か臨終場面のテレビ見つ我がありようを重ねてをりぬ

堀田 英雄

# 後世に残すべき、鉄道産業遺産・肥薩線へのその意義

## ＝日本の20世紀遺産に肥薩線が選定されたことを受けて＝

熊本産業遺産研究会 松本晋一

12月8日の新聞記事によれば、イコモス（国際記念物遺跡会議）の「後世に残したい、日本の20世紀遺産20選」の二つに、地元の現役鉄道「肥薩線」が選定された。



「肥後球磨川一勝地橋の光景」  
(人吉市鍋屋本館蔵)

このことは2015年に「九州山口の近代化産業遺産群」が世界文化遺産に選ばれた際に、当方（肥薩線産業遺産に関わった側）としては、なぜ「九州山口の」世界遺産に肥薩線が含まれなかったのかと地団駄を踏んだ思いが

蘇った次第である。

その時に思ったのは、なぜ、この旧鹿児島本線、今の肥薩線を九州山口の世界遺産構成からはずしたのか（はずされたのか？）であった。それは、時代区分、内容範囲、地域分布他から地方の鉄道が扱いにくかったからであろうと推測するが、恐らく遺産選定メンバーの中にこの肥薩線（旧鹿児島本線）の存在を知る（意識する）ものが居なかったことであろう。日本の近代化遺産群を底支えたのは、実は鉄道を中心とした当時のインフラであったのである。

遅れ馳せではあるが、今回改めてイコモスの「日本の20世紀遺産20選」に、この肥薩線が選ばれた意義として：

1、当時の鉄道技術が、これまでの外国人の手を離れた、日本人独自の鉄道技術の粋を集めた日本初の鉄道路線であること

2、青森から九州までの日本最初の縦貫幹線・鹿児島ルートであり、明治期の各種の鉄道技術が、総体的にこの路線に用いられていること

3、南九州地域と中央を結ぶ、重要な交通運輸の大動脈路線として日本の産業発展へ貢献したこと

4、2015年に「九州山口の近代化産業遺産群」が世界文化遺産として登録されたが、この九州山口の構成遺産を下支えたのが、明治41年（1908年）に人吉まで開通した九州線（明治40年に九州鉄道より国営化）、その後の鹿児島本線であること

5、そして忘れてはならないのが、それに携わった人々である。この鉄道路線の協議、選択、決定、工事、予算措置、完成等と、そして平成の今日までの維持管理である。

以上、イコモスの20世紀遺産の選定にあたり、肥薩

線には、この5つの価値付けが考えられるが、来年、2018年（平成30）6月は、この路線が人吉駅まで開通して110周年目を迎える。改めて、この肥薩線の開発と造成、これまでの維持保存など、これらに関わった人たちのリストを明らかにしたいものである。

また、来年12月には併せて九州自動車道開通30周年を迎える。これらの陸路開発、発展の機運が、この人吉球磨・熊本の教育や観光の資源価値見直しの節目となればと考える。今回、この当時の鉄道の重要性と肥薩線その存在価値が、イコモスの「日本の20世紀遺産20選」によって改めて知られることになることを、共に喜びたい。

（参考資料）

\*2007年度・産業考古学会全国大会（北九州市）研究発表「肥薩線に見られる鉄道産業遺産の現況」

\*2011年度産業考古学会全国大会（熊本市）研究発表「100年前の「人吉駅発着時間表」、その産業遺産的価値」

【まつもと・しんいち／人吉市】

問1 横綱になった力士名をかけ (例：大鵬)

- ① ( )
- ② ( )
- ③ ( )
- ④ ( )
- ⑤ ( )
- ⑥ ( )
- ⑦ ( )
- ⑧ ( )
- ⑨ ( )
- ⑩ ( )

問2 「元号」の例をかけ (例：昭和)

- ① ( )
- ② ( )
- ③ ( )
- ④ ( )
- ⑤ ( )
- ⑥ ( )
- ⑦ ( )
- ⑧ ( )
- ⑨ ( )
- ⑩ ( )

問3、坂本 (八代坂本町) の製紙工場の創始者4人の名前をかけ

- ① ( )
- ② ( )
- ③ ( )
- ④ ( )

問4、小山勝清について次の文章は正しいか。正しいときには○、誤っているときには×をつけよ (例：勝清は五木村の出身である。×)

- ①勝清は済々黉を卒業した。( )
- ②勝清は柳田國男と面識がない。( )
- ③勝清は片山宣と面識がない。( )
- ④勝清は反禁酒運動を進めた。( )
- ⑤勝清には息子はない。( )
- ⑥勝清の父親は国会議員であった。( )
- ⑦勝清の最後の著作は『在る村の近世史』である。( )
- ⑧勝清は浄土真宗本願寺派に帰依していた。( )
- ⑨勝清は熊本大学医学部附属病院で死亡した。( )
- ⑩勝清の墓は東京都にある。( )

問5、写真をみて問い答えよ。

①芦北町と津奈木町の間にある。隧道名を答えよ



答 ( )

②錦町にある遺跡名をを答えよ



答 ( )

※答え合わせは次号でおこないます。前回の答え合わせは86頁で。  
 ★全問正解者には抽選で弊社の書籍をプレゼントします。ハガキ又は封書で弊社まで解答をお送りください。

前号【くまがわ学習塾⑩の答え】

問1 球磨川の瀬の名前を書け。(例：二股の瀬)

- ① 那良の瀬
- ② 修理の瀬
- ③ 網場の瀬
- ④ 高曽の瀬
- ⑤ 高音の瀬
- ⑥ 瞽女(御膳)岩の瀬
- ⑦ 小石の瀬
- ⑧ 清水の瀬
- ⑨ 犬帰の瀬
- ⑩ 宮の瀬

問2 球磨川流域の古墳名を書け。(例：亀塚古墳)

- ① 四つ塚(三つ塚)古墳群
- ② 城ヶ峰横穴古墳群
- ③ 京ヶ峰古墳群
- ④ 大村古墳群
- ⑤ 小鼠蔵島古墳

問3、自治体の鳥の名前を書け。(例：五木村(メジロ))

- ① 水上村(セキレイ)
- ② 多良木町(指定セズ)
- ③ 錦町(ホオジロ)
- ④ 山江村(メジロ)
- ⑤ 相良村(セキレイ)
- ⑥ 人吉市(ウグイス)(ヤマセミ)
- ⑦ 球磨村(カワセミ)
- ⑧ 芦北町(指定セズ)
- ⑨ 八代市(カワセミ)
- ⑩ あさぎり町(ヒバリ)

問4、写真をみて問い答えよ。

- ① 祭り名を答えよ 答(妙見祭)
- ② ダムの名前を答えよ (瀬戸石ダム)
- ③ 観音像の名前を答えよ 答(秋月観音)

くまがわ狂句

村上鬼拳

鈍感力 よか政治家になりおつて  
 退屈 ちよつと此の世に出て来んか  
 アラアラ 若先生で思うたら  
 アラアラ 寢息聞かせにおいでたか  
 お生憎 そんな女に見えまして  
 退屈 エーゲ海まで来てみたが  
 お墨付き 見たばかりで多産系  
 嘘半分 医者立場もつつかつ  
 旅は道づれ 恋の落ちとるかも知れん  
 スリムねえ 借り入れ預貯金も無かつ

【むらかみ・きけん/人吉市】

すべての人を自分の親だと思って...



○特別養育老人ホーム  
 ○施設入所生活介護  
 ○通所介護事業所  
 ○障害介護支援事業所

社会福祉法人 天宮会



〒868-0066 人吉市下栗田町瓜生田1057-9  
 総機部門 ☎0968-22-8821 FAX 0968-22-8822  
 在宅部門 ☎0968-22-2141 FAX 0968-22-2182  
<http://park5.wakwak.com/~ryuasei/en/>  
 e-mail:tenunkai@sb.wakwak.com

# 今年の「人吉・球磨美術（絵画）連盟展」より



人吉スポーツパレスで9月22日～24日に開催された

高校生の作品



「静」 段村一美



「水蝕」 五島秀昭



「武原はん」 坂本福治



「青い空 遠い海」 宮村宏

今年の秋に開かれた「人吉・球磨美術（絵画）連盟」の第3回作品展を振りかえり、地域文化の一端を紹介したい。  
同連盟（宮村宏代表）は、美術の愛好家が気軽に作品を発表し、広く交流することを目的に2015年の3月に発足、



「生々流転」 堀田英雄

地元の美術文化の向上に貢献している。今回も、一般会員のほか、人吉高等学校、球磨工業高等学校らの作品も展示され、幅広い層にアピールした。

Sara Masmoudi

lisant mon bilan  
grand ciel bleu d'automne

【Commented by Mitsunori Nagata】

Nous pouvons comprendre le bon  
résultat des examens qui chasse les  
inquiétudes par un ciel clair d'automne.  
Ceci est un très bon Toriawase.

サラ

検査結果を見る  
秋の広い青い空

〔永田満徳評〕

検査に対する不安感を吹き払う  
良好な診断の結果であったことが  
晴れた秋空で理解できる。これこそ  
そが取り合わせである。

Elhoucine Bouhlou

Bec du colibri dans une fleur  
l'avion de chasse fait le plein en plein vol

【Commented by Mitsunori NAGATA】

Le Toriawase du bec du colibri et de  
l'avion de chasse est extraordinaire et  
cela donne une atmosphere de menace.

エルチンブロ

花の中のはちどりのくちばし  
戦闘機は空一杯に飛ぶ

〔永田満徳評〕

はちどりの長いくちばしと戦闘機  
の先鋭な機首との取り合わせが  
みごとで、いかにも風雲急を告  
げる雰囲気醸し出している。

Valerie Baudet

Larmes de cristal  
L'hiver pendu aux gargouilles

【Commented by Mitsunori NAGATA】

Larmes de cristal brillantes pendant  
des gargouilles qui ont des formes de  
monstres, représentent exactement  
l'hiver.

バレリー ボデ

つらら  
冬はガーゴイルにぶら下がっている

〔永田満徳評〕

怪物などをかたどったガーゴイル  
(吐水口)に「つらら」がきら  
りと光りながら垂れ下がっている  
様はまさしく冬そのものである。

【ながた・みつのり／俳人協会会員、熊本市】

おっとわっとあすび

その10

絵と文／松舟博満

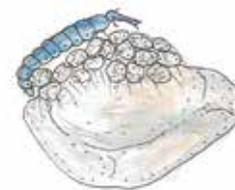
カズラムシ



シイカンボ(ス  
イバ)にウシシ  
カンボ(ギシギ  
シ)ちゅうとん  
あつて、ガネブ(ヤ  
マブドウ)にも  
ウシガネブ(ノ  
ブドウ)ちゅうとんあつて、どっち  
とめえ「ウシ」ん付くほうは、食  
いきやなんじゃった。

霜どん降りれば、ガネブも甘  
もうなつおつたで、ナンテンぐりゃ  
ん太さん、紫黒ん熟れた実ば口いっ  
ぴやんいれて、種ばプツッ飛ば  
きやあて、ウシガネブんカズラば  
見つけてさるく。  
ウシガネブん実はガネブよまあ  
太うして、そん実もどぎやな色でっ

カワムシ



ちやあつて、食いきやなんどで、美  
しゅうはあつたいどんが、他にや何  
んの為にもならじゃった。  
そんカズラムシん所つをば良う  
見れば、他ん節ん倍ばつかり、膨  
れとつ所んあつて良う見ればノコク  
ズんくたつとん出とつで、膨れとつ  
所つをば二寸ぐりやでうち切つて、  
集めとつて、メジロン食わせたつ、  
イヲ釣りん餌んしおつた。

ウウカワ(球磨川)にやアブラ  
メヤヤンモト  
んすくのうし  
て、ハエやイ  
ダの良う食ら  
いおつたいど  
んが、ナガン

ゴ(永野川)で良う使いおつたミ  
ミズん餌じゃあんまつとしゃが食ら  
わんじやつたで、瀬の早か膝ぐりや  
ん深さん所けえ入つていたあて、五  
寸ぐりやん石ば、引き起けえて上  
げて見れば、そん石んぐるりん小  
みんか砂利ばコブん糸んぐたつと  
で、ひつ付けたとん有つて、開  
て見れば、一寸ばつかりん黒かム  
シ出てくつて、こんムシば「かわ  
むし」て言いおつた。

水ん中きやおつてと思つて、カ  
ンズめん殻に水ば入れてとつとけ  
ば、じきにやうつ死んおつて、そん  
代わりん乾いた砂やノコクズん中  
きや入れとけば、元氣ようしとつた  
で、要つしこずつ取つちや釣りん餌  
んした。

【まつふね・ひろみつ／青井阿蘇  
神社・文化苑「童遊館」】

## 編集後記

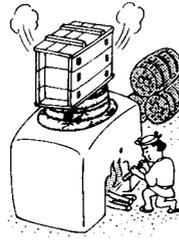
今年は事務所の移転で、てんてこ舞い、まだ完全に片づいてはいないが、取りあえず年の暮れである。本誌の発行も試行錯誤の中で、四苦八苦であるが、多くの一年の日本はどうであったか。自動車メーカの不正検査発覚後、相次ぐデータ改竄や不正が明らかになり、日本の産業界の品格が問われている。そんな時に思い出すのが、人吉市出身の品質管理学者である佐々木脩氏（1925～）の言葉。「経営は真善美聖の価値を自分と企業と社会のためにつくること」と著書の中で記し、人間として社会人として、誠実に仕事に取り組みことを訴えている。正直者が馬鹿を見る社会では悲しい。★さて来年は、明治改元から150年、様々なことが起こるだろう。この流域が元気になり、読者の皆様が良い新年を迎えられることを願って、今年の結びとしたい。(ま)

〒868-0015  
熊本県人吉市下城本町1436-4の3号  
人吉中央出版社「くまがわ春秋」編集部  
info@hiyoshi.co.jp  
電話・ファックス 0966-23-3759

## インフォメーション

- 12月16日(土) 求麻郷土研究会12月例会「五木村南部文化財調査」
- 12月17日(日) 第65回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会(あさぎり町須恵小学校スタート、須恵文化ホール・ゴール)
- 12月19日(火) 人吉市議会12月定例会 採決・閉会
- 12月20日(水) 中学生を対象とした「命の授業」(人吉市カルチャーパレス)
- 12月23日(土) 天皇誕生日
- 12月24日(日) 田舎の体験交流館さんがつら「収穫祭」(球磨村)
- 12月27日(水) 人吉インドアテニス大会(人吉市スポーツパレス)
- 12月28日(木) 球磨川下り「竿納め」(人吉発船場)
- 1月1日(月) 元旦
- 1月3日(水) 人吉市成人式(人吉市カルチャーパレス)
- 1月4日(木) 官庁御用始め
- 1月7日(日) 七草
- 1月8日(月) 成人の日

**匠の枝**



◆納豆みそ (お徳用) 300円 (税抜)

◆納豆みそ 477円 (税抜)

**御膳醤油**  
(だし入り万能しょうゆ)



◆納豆みそ (お徳用) 300ml 650円 (税抜)

◆みそ煎餅 477円 (税抜)



◆みそ煎餅 477円 (税抜)

九州和食 蔵めぐり

**みそ・しょうゆ蔵**

資 産 会 社  
**釜 田 醸 造 所**  
会 長 釜 田 元 嘉 顕  
社 長 釜 田 顕

〒868-0001 熊本県人吉市鍛冶屋町16  
電話 (0966) 22-3164  
FAX (0966) 22-3165  
メール info@marukama.co.jp



**たけだ眼科クリニック**  
院長 竹田 憲司  
人吉市南泉田町39 ☎23-3096

---

めがね・コンタクトレンズの  
**アイウェア 榎**  
(たけだ眼科ビル内) ☎0966-23-3097

---

デイサービスセンター  
ケアプラン作成所いずみ  
(居宅介護支援事業所)

**いずみ**

協力医療機関 たけだ眼科クリニック  
人吉市南泉田町70番地の3 ☎0966-28-3307